

令和7年度

昼間コース

# 演習指針

長崎大学経済学部

## 演習について

この演習指針は、令和7年4月から開講される演習の題目及びその内容・方針等を記載したものです。

演習は、長期にわたって履修しなければならないので、十分検討した上で一つの題目を選択し、履修手続きを行ってください。

演習の履修要件、履修方法、履修手続き等は、以下のとおりです。なお、長崎大学経済学部規程（以下「学部規程」という）は、入学時の規程が適用されますので、十分留意してください。

授業科目名	専門ゼミ		
学期・単位数 ・必修選択	通年・4単位・必修	標準履修年次	3年次
授業の目的 ・到達目標	「実践的エコノミスト」の養成を目指し、講義科目の内容の系統的理解を前提とした、特定の学問領域に関する知識の深化を図る。4年次に作成する卒業論文のテーマ選択へ向けて、専門領域における問題発見とその解決のプロセスを通じ、思考能力を涵養する。		
授業方法	各ゼミは9名から20名の少人数で構成される。1年間を通して一人の教員の指導のもとに履修する必修科目である。専門ゼミの単位修得後、原則として同一教員の指導のもとに卒研ゼミを履修する。所属ゼミ決定のために、教員と履修希望者との面接等を実施し履修希望者が多い場合は選抜が行われることがある。（面接等については、本指針の各教員による説明を参照。）		
指導内容等	「実践的エコノミスト」の養成に照らして各教員が設定する課題・テーマや指導方針に基づき、学生の主体的な学習を中心とした多彩なゼミ運営が行われる。各ゼミの課題・テーマ、内容と方法、教科書・教材・参考書等については、本指針の各教員による説明を参照。詳細は指導教員が指示する。		
成績評価の方法・基準等	ゼミの課題・テーマにたいする取り組み方、主体的・積極的なゼミへの参加、報告やプレゼンテーションなどを基本として、各指導教員が成績評価を行う。		
履修要件	<p>専門ゼミを履修するためには、次に掲げる単位数を修得していなければならない。</p> <p>令和3年度以降入学者</p> <p>(1)教養教育科目の修得単位数が22単位以上（外国語科目6単位以上を含む）</p> <p>(2)専門教育科目の修得単位数が26単位以上</p> <p>平成24年度～令和2年度入学者</p> <p>(1)教養教育科目の修得単位数が28単位以上（外国語科目8単位以上を含む）</p> <p>(2)専門教育科目の修得単位数が20単位以上</p>		
備考	ゼミによっては受入れコースや上記以外の履修条件を指定している場合があるので、注意が必要である。		

授業科目名	卒研ゼミ		
学期・単位数 ・必修選択	通年・4単位・必修	標準履修年次	4年次
授業の目的・ 到達目標	卒業研究ゼミであり、大学において習得した知識の体系化と応用、また専門ゼミにおいて培ったテーマ選択（問題解決）能力、調査研究能力等の一層の発展を目指し、各専門領域の研究を進める。大学教育の集大成として位置づけられ、その成果を卒業論文として完成させる。		
授業方法	各ゼミは9名から20名の少人数で構成される。原則として専門ゼミと同一教員の指導のもとに履修する必修科目である。卒業論文は原則として個人研究により、個々の学生に合わせた個別指導が行われる。		
指導内容等	論文作成プロセスを通じて、幅広い教養と基礎的知識の定着を図りつつ専門的知識を一層掘り下げ、問題解決方法を生み出す思考能力を育成する。各学生の選択テーマや問題意識に則して、文献・資料の探索やデータ整理・分析、論文の形式、構成や論旨展開など、さまざまな観点から指導教員が助言を与える。		
成績評価の 方法・基準等	第4年次の指定された期日までに卒業論文を提出しなければならない。成績評価は提出された卒業論文等により各指導教員が行う。		
履修要件	卒研ゼミを履修するためには、専門ゼミの単位を修得していなければならない。		
備考			

### ○募集及び履修手続き

#### (1) 募集人数・採用数

各ゼミの募集人数は9～20名とする。

#### (2) 募集日程

募集は下記の日程により行う。

区分		期日	申込手続等
第1次募集	提出締切	11月22日（金）17時00分	対象となる全ての学生は、第1次募集申込書を学務係へ提出する。
	面接等	11月29日（金）～12月5日（木）	教員別の日程は演習指針及びピロティール掲示板にて指示する。
	結果発表	12月9日（月）15時00分	ピロティール掲示板で発表するとともに、第2次募集を行う教員名を掲示で知らせる。
第2次募集	提出締切	12月12日（木）17時00分	第1次募集で決定しなかった学生は、第2次募集申込書を学務係へ提出する。
	面接等	12月16日（月）～12月18日（水）	教員別の日程は演習指針及びピロティール掲示板にて指示する。
	結果発表	12月20日（金）15時00分	ピロティール掲示板で発表するとともに、第3次募集を行う教員名を掲示で知らせる。
第3次募集	提出締切	1月8日（水）17時00分	第2次募集で決定しなかった学生は、第3次募集申込書を学務係へ提出する。
	面接等	1月14日（火）～1月16日（木）	教員別の日程は演習指針及びピロティール掲示板にて指示する。
	結果発表	1月22日（水）15時00分	ピロティール掲示板で発表する。
第3次募集結果発表後の 手続き	第3次募集までに決定しなかったものについては、ピロティール掲示板で各ゼミの採用決定状況を確認のうえ、引き続き決定するまで手続きを行う。		

※ 面接等実施日程、見学実施日程、個別相談日程は次ページ以降に掲載

※ シラバスを、LACS 及び経済学部ホームページ掲載の「演習指針」から必ず確認すること。  
経済学部ホームページ → 在学生の皆様へ → 受講の手引き → ゼミナールガイド →  
令和7年度昼間コース演習指針

最終的な履修決定者（履修要件を満たした者）は、令和7年4月初めに掲示にて発表する。

### ○指導教員の変更について

- (1) 履修登録取消や辞退の場合は、あらためて履修手続きを行い、新たに専門ゼミ及び卒研ゼミを、原則として同一指導教員のもとに履修しなければならない。
- (2) やむを得ない事情により、同一指導教員のもとに履修することができない場合は、指導教員の変更を認めることがある。（指導教員の転出、休職、長期出張等）

### ○演習室使用上の注意等

- (1) 演習は、4月初めに割り当てられた演習室で行われる。
- (2) 演習室を使用する場合は、事前に学務係の使用簿に記入し、鍵を預かり、使用後は施錠し学務係へ返却する。
- (3) 演習室の使用時間は、原則として14時30分～17時40分までとし、時間外に使用するときは指導教員を経て学務係に申し出ること。
- (4) 演習終了後は、戸締まり等を確実に行うこと。
- (5) 演習に関わる報告書等を作成するための印刷機を本館2階・多目的室に設置する。使用方法については、学務係窓口または掲示等で確認すること。

### ○その他申込みについての注意事項

- (1) 専門ゼミ募集に関する連絡事項（面接日・ゼミ見学・相談日時の変更等）・ゼミ決定通知通知は LACS 掲載及び本館12講義室前ピロティの掲示板に掲示するので、随時確認すること。
- (2) 申込書の配付  
10月中旬頃から学務係前情報コーナーに設置するので、各自第何次募集かを記載して使用すること。  
また、LACS 掲載及び経済学部ホームページにも掲載するので、各自印刷して提出することもできる。
- (3) 教員宛に事前提出物がある場合も、専門ゼミ申込書は必ず学務係前のレポートボックスに提出すること。
- (4) 申込書の「題目」欄は、後の「演習題目及び担当教員一覧」に記載されている「演習題目」を記入すること。
- (5) 教員宛にメールを送信する場合は、『学生番号・氏名および「ゼミ募集について」』等件名を入れること。携帯電話でメールを受信する場合は、PCからのメールを受信できるようにしておくこと。教員からの連絡が滞る場合には、電話や学務係を通じて必ず確認すること。
- (6) 本演習の面接を理由とした講義の「欠席届」の提出はできない。万が一、講義の時間と重複する場合は教員に時間等調整の相談をすること。
- (7) 提出物や面接の日時については、LACS、演習指針及び本館12講義室前ピロティの掲示板を確認し、その指示に従うこと。指示に従わない場合は受け入れないことがある。
- (8) ゼミ決定後は、原則辞退することはできないので注意すること。（選考時に未決定となった他の学生が不利益を被ることを防ぐため。）
- (9) 早期卒業予定者は、「演習題目及び担当教員一覧」の「早期卒業予定者受入れ」欄に○があるものから選択すること。

# 専門ゼミ 面接等実施日程

※日程は変更になることがあるので、随時掲示を確認すること。

教員名	演習題目	区分	面接実施日	時間帯	場所	注意事項
VIEIRA AMARO, Bebio	Research on Urban Environments & Spaces	第1次募集	11月29日(金)	15:00 ~ 16:00	本館5階503研究室	Before the interview date, send an email to the teacher, with the subject title "Application Request for Special Seminar (Student Name + Number)." Also attach to the email a Word file (A4 size, 1 page maximum) with the following information in English: (a) Student Name & Number; (b) a quick self-introduction; (c) why you are interested in taking this seminar; (d) what is the general research topic that you are interested in investigating; (e) interview date. The interview will be conducted in English.
		第2次募集	12月18日(水)	15:00 ~ 16:00	本館5階503研究室	
		第3次募集	1月16日(木)	15:00 ~ 16:00	本館5階503研究室	
井田 洋子	憲法問題の探究	第1次募集	12月2日(月)	12:00 ~ 13:30	本館5階506井田研究室	面接時に、憲法問題に関するテーマを取り挙げた論文、書籍、新聞・雑誌の切り抜き等を持参すること。
		第2次募集	12月16日(月)	12:00 ~ 13:00	本館5階506井田研究室	
		第3次募集	1月16日(木)	13:00 ~ 14:00	本館5階506井田研究室	
井畑 陽平	競争法(独占禁止法)研究	第1次募集	11月29日(金) ~ 12月5日(木)		東南アジア研究所3階共用スペース(か、311研究室)	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体的な面接日時や場所については、調整さんなどを用いて決めます。教員から届くメールを、必ず、確認して下さい。</li> <li>メールを、円滑にやりとりできる志願者を優先的に受け入れます。</li> <li>メールを送信する際、件名には「ゼミ面接希望、学生番号、氏名」を必ず記載して下さい。</li> <li>志望者は、学務係への募集申込に加えて、面接の前日までに、志望理由書(2パラグラフ=300字から400字程度)を、ワード等で作成し、メールに添付して送信して下さい。</li> <li>志望理由書には、自己紹介、志望理由そしてこの演習で取り組みたいテーマについて、書いて下さい。</li> </ul>
		第2次募集	12月16日(月) ~ 12月18日(水)			
		第3次募集	1月14日(火) ~ 1月16日(木)			
今仁 裕輔	企業ファイナンス	第1次募集	11月29日(金)	11:00 ~ 17:00	本館6階603号室	面接の時間の設定のために、前日までにメールでアポイントメントをとってください。その際に、以下についてWord1枚でまとめたものをメールで送付してください。 (1) 専門ゼミでどういったことを学びたいか (2) これまでに履修した金融/計量経済/統計関連の講義名と、それぞれの講義で印象に残ったトピック 送付先: y_imani@nagasaki-u.ac.jp
		第2次募集	12月16日(月)	11:00 ~ 17:00	本館6階603号室	
		第3次募集	1月14日(火)	11:00 ~ 17:00	本館6階603号室	
宇都宮 讓	人的資源管理	第1次募集	12月3日(火)	13:30 ~ 14:30	東南アジア研究所209室	特になし。シラバス所載事項を熟読して出頭すること。
		第2次募集	12月17日(火)	13:30 ~ 14:30	東南アジア研究所209室	
		第3次募集	1月14日(火)	13:30 ~ 14:30	東南アジア研究所209室	
大角 道子	解析学を中心に数学に親しむ	第1次募集	11月29日(金)	17:00 ~ 18:00	本館演習室(後日指定)	ゼミで利用予定のテキストに基づき問題を出題しますので、答案を(解ける解けないにかかわらず)作成して面接時に持参してください。
		第2次募集	12月16日(月)	17:00 ~ 18:00	本館演習室(後日指定)	
		第3次募集	1月14日(火)	17:00 ~ 18:00	本館演習室(後日指定)	
小野 哲	管理会計論	第1次募集	12月2日(月)	12:10 ~ 13:00	オンライン面接	事前にメールでアポを取る。折り返し招待メールを送信します。
		第2次募集	12月16日(月)	12:10 ~ 13:00	オンライン面接	
		第3次募集	1月15日(水)	12:10 ~ 13:00	オンライン面接	

神園 健次	証券投資論	第1次募集				受講希望者は、①志望理由、②シラバスの「学生へのメッセージ」に記載してある課題、の2点をレポートにまとめ、募集期間中に、担当教員へのメール添付、もしくは担当教員のメールボックス(本館1階エレベータ前)への投函のいずれかの方法により提出すること。選者はレポートの内容によって行い、面接は実施しません。
		第2次募集				
		第3次募集				
木村 眞実	マネジメントの 実践	第1次募集	12月3日(火)	10:00 ~ 14:00	本館6階630 木村研究室	面談当日には以下のレポートをご持参ください。 ・自己紹介(字数制限無し) ・志望理由(字数制限無し)
		第2次募集	12月18日(水)	10:00 ~ 14:00	本館6階630 木村研究室	
		第3次募集	1月16日(木)	10:00 ~ 14:00	本館6階630 木村研究室	
工藤 健	経済政策	第1次募集	11月29日(金)~ 12月5日(木)	8:50 ~ 17:40	本館5階521工藤研究室 またはオンライン	募集申込書に加えて、募集申込書の提出締切までに、下記のQRコードから「応募シート」フォームにアクセスし、必要事項を記入して回答を送信すること。面接時間の割当等に使用します。 
		第2次募集	12月16日(月)~ 12月18日(水)	8:50 ~ 17:40	本館5階521工藤研究室 またはオンライン	
		第3次募集	1月14日(火)~ 1月16日(木)	8:50 ~ 17:40	本館5階521工藤研究室 またはオンライン	
式見 拓仙	統計学	第1次募集	11月29日(金)	12:10 ~ 12:40	東南アジア研究所2階214	1. シラバスで指定しているテキストを必ず手に取って自分の学びたいことと合致しているかどうかを確認してください。 2. 本ゼミに応募する学生は面接日時に東南アジア研究所2階214までお越しください。 3. 面接日の前日17:00までに自己紹介と志望動機をA4一枚程度(横書)にまとめたものを以下の宛先に送ってください(締切厳守)。 shikimi@nagasaki-u.ac.jp
		第2次募集	12月16日(月)	12:10 ~ 12:40	東南アジア研究所2階214	
		第3次募集	1月14日(火)	12:10 ~ 12:40	東南アジア研究所2階214	
穴倉 学	公共経済研究	第1次募集	12月2日(月)	12:10 ~ 12:50	東南アジア研究所2階205	面接時に、ゼミで実施したい研究内容についてA4用紙1枚(800字程度)にまとめたものを持参すること。
		第2次募集	12月16日(月)	12:10 ~ 12:50	東南アジア研究所2階205	
		第3次募集	1月16日(木)	12:10 ~ 12:50	東南アジア研究所2階205	
徐 陽	制度会計	第1次募集	随時申し込みの際に複数の面接可能日 候補をメール(jxuyang@nagasaki- u.ac.jp)にてご連絡ください。		本館5階508研究室	・面接にあたり、志望理由書をA4用紙に800字以上でまとめて持参してください。
		第2次募集				
		第3次募集				
白水 桂子	社会言語学	第1次募集	12月2日(月)		オンラインによる面接(時間は相談の上、決定する)	1次~3次募集のいずれも、応募を考えている場合は、個別相談、またはメールでの相談を必ず事前にして下さい。実際に応募する際には個別相談時に指定する日時までに、A4用紙1枚の志望理由書のファイルをメール添付で送付して下さい。申込書には確実に連絡が取れるメールアドレスを記入して下さい。
		第2次募集	12月16日(月)		オンラインによる面接(時間は相談の上、決定する)	
		第3次募集	1月14日(火)		オンラインによる面接(時間は相談の上、決定する)	
鈴木 崇文	国際貿易政策	第1次募集	11月29日(金) ~12月5日(木)	10:00 ~ 17:00	本館6階624鈴木(崇)研究室	応募頂ければ、面接日時はこちらから応募者に日程調整のメールを送ります。面接時に、志望理由及び関心事項について説明できるようお願いします。特段の事前知識は必要なく、参加できるゼミです。個人の都合にも配慮します。
		第2次募集	12月16日(月)~ 12月18日(水)	10:00 ~ 17:00	本館6階624鈴木(崇)研究室	
		第3次募集	1月14日(火)~ 1月16日(木)	10:00 ~ 17:00	本館6階624鈴木(崇)研究室	
鈴木 斉	コンピュータ セキュリティ	第1次募集	11月29日~ 12月5日迄	相談に応じます。	本館6階631鈴木研究室 もしくはオンライン面接	面接時にA4用紙1頁にまとめた自己紹介を持参して下さい。面接日時の希望はsigh@nagasaki-u.ac.jpに連絡願います。 なお、9名を超える内定者を決定した場合は、以後の募集は行ないません。
		第2次募集	12月16日~ 12月18日迄	相談に応じます。	本館6階631鈴木研究室 もしくはオンライン面接	
		第3次募集	1月14日~ 1月16日迄	相談に応じます。	本館6階631鈴木研究室 もしくはオンライン面接	
高井 計吾	マネジメントの 実践	第1次募集	11月29日(金)	13:00 ~ 16:00	本館5階525高井研究室	・面接時刻や形式などの詳細については、こちらから応募者にメールします。 ・学務への申込書提出に加え、面接2日前までに、800字程度の自己紹介文(志望理由を含む)をワード等で作成・添付し、 kegotak@nagasaki-u.ac.jp まで送付して下さい。
		第2次募集	12月18日(水)	13:00 ~ 16:00	本館5階525高井研究室	
		第3次募集	1月14日(火)	13:00 ~ 16:00	本館5階525高井研究室	

趙 文静	民法問題の研究	第1次募集	11月29日(金)	13:00 ~ 14:00	本館5階504研究室	面接時に、A4用紙1枚にまとめた自己紹介文(800字程度、志望理由を含む)を持ってくること。
		第2次募集	12月16日(月)	13:00 ~ 14:00	本館5階504研究室	
		第3次募集	1月14日(火)	13:00 ~ 14:00	本館5階504研究室	
津留崎 和義	マネジメントの実践	第1次募集	12月2日(月)	16:20 ~	本館6階601研究室	第1次募集面接は16時20分集合。そこから順次面接を行うので、当日は予定を確保しておくこと。
		第2次募集			追って掲示する	
		第3次募集			追って掲示する	
杜 依濛	環境経済学	第1次募集	11月29日(金)	10:00 ~ 11:00	本館5階523研究室・	<ul style="list-style-type: none"> <li>ゼミ希望者は、面接前にメールを送ること(メールの件名は「ゼミ面接希望、学生番号、氏名」と記載)</li> <li>折り返し、面接で使用するアンケートのQRコードを送るので、面接前日までにアンケートを記入すること</li> <li>面接時に、関心を持つ環境問題について説明できるよう、準備しておくこと</li> </ul> 送付先: sissitoh@gmail.com
		第2次募集	12月16日(月)	10:00 ~ 11:00	本館5階523研究室・	
		第3次募集	1月15日(水)	10:00 ~ 11:00	本館5階523研究室・	
成田 真樹子	世界経済論	第1次募集	12月3日~4日		本館5階511研究室	メールで面接日時の調整を行いますので、希望者は締め切りまでに学生番号、氏名、希望日時(だいたいで可)を記載してメールしてください。2日以内に返信します(土日祝を除く)。締め切りまでにメールを送っていない場合は辞退したものとみなします。なお、面接実施日以外でも時間が合えば面接を設定することも可能です。
		第2次募集	12月17日~18日		本館5階511研究室	
		第3次募集	1月14日~15日		本館5階511研究室	
西村 宣彦	イノベーション実践研究	第1次募集	11月29日(金)	16:10 ~ 18:00	本館6階605西村研究室	第一次募集では事前書類選考を実施します。応募者は <b>11月15日17時まで</b> にメールで、氏名、連絡先メール、プロジェクトリサーチ、ビジネスリサーチの受講の有無、志望動機400字程度を適宜作成して、教員宛てメールにて連絡してください。
		第2次募集	12月17日(火)	16:10 ~ 18:00	本館6階605西村研究室	
		第3次募集	1月14日(火)	17:10 ~ 19:00	本館6階605西村研究室	
林 徹	経営学	第1次募集	11月29日(金)	13:00 ~ 17:00	本館6階627ハヤシ研究室	ゼミ見学期間中に個別相談を実施した応募者に対しては面接を実施しません。面接の日程調整はEmailで行うので、応募後すぐに thaya@nagasaki-u.ac.jp に連絡してください。
		第2次募集	12月16日(月)	13:00 ~ 17:00	本館6階627ハヤシ研究室	
		第3次募集	1月14日(火)	13:00 ~ 17:00	本館6階627ハヤシ研究室	
原 由紀恵	Linguistics	第1次募集	12月4日(水)	12:30 ~ 14:00	Zoom/本館5階509	By the application deadline, email Yukie HARA at harayukie@nagasaki-u.ac.jp to submit your writing (1 page, A4) by attachment, which describes in English (1) why you choose this seminar, and (2) what you like to achieve by joining this seminar (your research theme). Inform any unavailable times for the interview in the email. The interview is to be done in English.
		第2次募集	12月18日(水)	13:00 ~ 14:00	Zoom/本館5階509	
		第3次募集	1月15日(水)	13:00 ~ 14:00	Zoom/本館5階509	
藤田 泰昌	国際関係論	第1次募集	12月2日(月) 12月4日(水)	16:30 ~ 17:30 13:00 ~ 14:30	本館6階 藤田研究室	「なぜこのゼミなのか」および「何を研究したいのか」を説明できるよう、準備してくること。  時間調整を行うので、応募をしたら、必ず担当教員にメールで連絡すること。
		第2次募集	12月16日(月)	16:30 ~ 17:30	本館6階 藤田研究室	
		第3次募集	1月15日(水)	13:00 ~ 14:30	本館6階 藤田研究室	
辺見 英貴	マネジメントの実践	第1次募集	11月29日(金)	16:00 ~ 18:00	本館6階608辺見研究室	面接時に、A4用紙1枚にまとめた自己紹介文(志望理由を含む、字数は不問)を持ってくること。なお、応募者多数の場合は自己紹介文などで選抜する。詳細はメールで連絡するため確認すること。
		第2次募集	12月18日(水)	16:00 ~ 18:00	本館6階608辺見研究室	
		第3次募集	1月15日(水)	16:00 ~ 18:00	本館6階608辺見研究室	
丸山 真純	異文化コミュニケーション研究	第1次募集	12月4日(水)	12:10 ~ 13:10	本館5階職員談話室	演習申込時に、A4用紙1枚にまとめた自己紹介文(800字程度、志望理由を含む)を持ってくること。面接日時は個別調整が必要な場合、対応します。
		第2次募集	12月18日(水)	12:10 ~ 13:10	本館5階職員談話室	
		第3次募集	1月15日(水)	12:10 ~ 13:10	本館5階職員談話室	

南森 茂太	日本経済史	第1次募集	随時.申し込みの際に複数の面接可能日 候補をメール (shigeta373mori@nagasaki- u.ac.jp)にてご連絡ください。			本館6階625研究室	・面接にあたり、志望理由書を A4用紙 に800字程度でまとめて持参してくださ い。
		第2次募集					
		第3次募集					
三輪 加奈	開発経済研究	第1次募集	12月2~4日	12:00 ~ 13:00	本館6階623研究室	事前にメールで希望日を連絡すること。 都合がつかない場合はその他の日時でも 調整可能。 面接時に、自己紹介や志望動機をまとめ たもの(A4用紙 1枚)を持ってくるこ と。	
		第2次募集	12月17~18日	12:00 ~ 13:00	本館6階623研究室		
		第3次募集	1月14~16日	12:00 ~ 13:00	本館6階623研究室		
森田 顕仁	租税法研究	第1次募集	11月29日(金) 12月2日(月)	13:00 ~ 17:00		面接を希望する学生は、事前に森田宛に メールをすること。 A4用紙 1枚(800字程度)にまとめた 自己紹介文(志望理由を含む)を作成 し、面接前に森田宛にメールで送付す ること。	
		第2次募集	12月16日(月)	13:00 ~ 15:00			
		第3次募集	1月14日(火)	15:00 ~ 17:00			
森保 洋	計量経済学と データサイエ ンス	第1次募集	12月2日(月)	12:00 ~ 13:00	東南アジア研究所313研究 室	面接時に、A4用紙 1枚にまとめた自己 紹介文(800字程度、志望理由を含 む)を持ってくること。	
		第2次募集	12月16日(月)	12:00 ~ 13:00	東南アジア研究所313研究 室		
		第3次募集	1月15日(水)	12:00 ~ 13:00	東南アジア研究所313研究 室		
山口 純哉	地域経済学	第1次募集	12月2日(月)	17:00 ~ 19:30	本館3階オープンラボ2	面接時に、A4用紙1枚にまとめた自己紹 介・志望理由文を印刷・持参すること。	
		第2次募集	12月16日(月)	17:00 ~ 19:30	本館3階オープンラボ2		
		第3次募集	1月15日(水)	17:00 ~ 19:30	本館3階オープンラボ2		
吉沢 裕典	ミクロ経済学	第1次募集	応相談	応相談 応相談	本館5階510吉沢研究室	・応募に際しては、個別相談の時間などを 利用し、内容などに関して事前に必ず説明 を受けてから応募すること。事前説明を受 けない者は受入不可。事前にメールをもら えれば、個別相談の時間以外も可能な限り 対応する。 ・応募者多数の場合は志望理由、関連科目 の成績などを基に決定する。志望者は、学 務係への募集申込に加え、学務係への募集 申込の事前に志望理由書、課題レポート、 NU-Webの成績照会から出力した全成績 のファイルを吉沢のメールアドレス宛に 送信すること。メールを送る場合は一目で ゼミへの応募と分かるようにタイトルを つけるように。折り返し、面接日時を送信 元メールアドレスに送る。 ・志望理由書は様式自由、簡単な自己紹介 と卒業論文で取り組みたいテーマ、現在履 修中の科目を書くこと。 ・課題レポートは、『経済論文の書き方』 (経済セミナー編集部編, 2022, 日本評 論社)のうち、いずれか一つの章を採り上 げ熟読し、自身が学んだことについて取り 纏めなさい。様式自由。	
		第2次募集	応相談	応相談 応相談	本館5階510吉沢研究室		
		第3次募集	応相談	応相談 応相談	本館5階510吉沢研究室		
林 麗桂	組織行動研究	第1次募集	「専門ゼミ申込書」の裏面に、面接 の実施期間内に希望する面接日時の 候補を3つ記載してお知らせ下さ い。			本館5階531研究室	・志望者は、学務係への募集申込に加 えて、成績表と志望理由書(800字程度) を面接日に必ず持参すること。
		第2次募集				本館5階531研究室	・志望理由書には、自己紹介、志望理由 および最近ハマっていることについて記 載すること。
		第3次募集				本館5階531研究室	・ゼミ申込書には必ず大学のメールアド レスを記載し、面接実施期間内に必ず メールを確認すること。

令和6年10月1日現在

# 専門ゼミ ゼミ見学実施日程

期間：10月10日（木）～11月14日（木）

※日程は変更になることがあるので、随時掲示を確認すること。

教員名	演習題目	曜日	校時	場所	実施日					
					10月			11月		
井田 洋子	憲法問題の探究	木	4	本館43演習室			24	31		
井畑 陽平	競争法（独占禁止法）研究	月	5	東南アジア研究所3階共同研究室	28				11	
今仁 裕輔	企業ファイナンス	木	4	本館33教室		17		31		14
木村 眞実	マネジメントの実践	金	3・4	本館メディアステーション1・2	11	18			1	
工藤 健	経済政策	火	5	本館25演習室	22				12	
穴倉 学	公共経済研究	木	5	新館308演習室	10	17	24	31	7	14
徐 陽	制度会計	金	4	本館41教室	11	18	25		1	
鈴木 崇文	国際貿易政策	木	5	本館41演習室	10	17	31		7	
鈴木 育	コンピュータセキュリティ	金	4	本館45演習室	11	18	25		1	8
高井 計吾	マネジメントの実践	月	4	本館4Fメディアステーション	21	28			11	
津留崎 和義	マネジメントの実践	金	3	メディアステーション1					8	
西村 宣彦	イノベーション実践研究	木	4	本館45演習室	10		24			
原 由紀恵	Linguistics	金	4	本館32演習室 (10/25 は本館46演習室)		25			8	
藤田 泰昌	国際関係論	火	5	本館24演習室				29		12
辺見 英貴	マネジメントの実践	木	4	メディア・ステーション1	10	17				
南森 茂太	日本経済史	火	4	附属図書館経済学部分館 ラーニングcommons	15	22	29		12	
三輪 加奈	開発経済研究	木	4	本館32演習室（変更がある場合には当日教室に掲示）	24	31				
森田 顕仁	租税法研究	木	4	本館41演習室	10	17	24	31	7	14
森保 洋	計量経済学とデータサイエンス	木	4	本館45演習室					7	14
林 麗桂	組織行動研究	金	4, 5	本館34	11	18	25		1	

# 専門ゼミ 個別相談日程

※日程は変更になることがあるので、随時掲示を確認すること。

教員名	演習題目	実施日	時間帯	場所	備考
VIEIRA AMARO, Bebio	Research on Urban Environments & Spaces	10月17日(木)	16:10 ~ 17:40	本館5階503研究室	Students must make an appointment by email (事前にメールでアポを取ること): bvamaro▲nagasaki-u.ac.jp (Please change ▲ to @ when sending your e-mails.)
		10月24日(木)	16:10 ~ 17:40	本館5階503研究室	
		10月31日(木)	16:10 ~ 17:40	本館5階503研究室	
今仁 裕輔	企業ファイナンス	10月15日(火)	16:10 ~ 17:00	本館6階603号室	事前にメールでアポを取ること
		10月29日(火)	16:10 ~ 17:00	本館6階603号室	
宇都宮 譲	人的資源管理	10月8日(火)	13:30 ~ 14:30	東南アジア研究所209室	特になし。
		10月15日(火)	13:30 ~ 14:30	東南アジア研究所209室	
大角 道子	解析学を中心に数学に親しむ	11月1日(金)	17:00 ~ 18:00	本館演習室(後日指定)	事前にメールでアポイントを取ってください。
		11月5日(火)	17:00 ~ 18:00	本館演習室(後日指定)	
		11月6日(水)	17:00 ~ 18:00	本館演習室(後日指定)	
小野 哲	管理会計論	10月21日(月)	12:10 ~ 13:00	オンライン個別相談	事前にメールでアポを取ること。折り返し招待メールを送信します。
		10月28日(月)	12:10 ~ 13:00	オンライン個別相談	
		11月11日(月)	12:10 ~ 13:00	オンライン個別相談	
神薊 健次	証券投資論				対面またはZoomでの相談を受け付けます。希望者はメールで日時をご相談ください。
木村 眞実	マネジメントの実践	11月27日(水)	10:00 ~ 16:00	本館6階630 木村研究室	事前にメールにてアポを取ってください。アポ取りメールの際には、下記、ご注意ください。 ①個別相談の「希望日時3つ」を提示する。 ②メールタイトルを「専門ゼミ個別相談(ご自分の氏名)」とする。 ③メールを送信してから3営業日が経過しても、当方からの返信メールが無い場合には、再度、メール送信願います。
		12月11日(水)	10:00 ~ 16:00	本館6階630 木村研究室	
		1月9日(木)	10:00 ~ 16:00	本館6階630 木村研究室	
工藤 健	経済政策	10月22日(火)	17:40 ~ 18:20	本館2階25演習室	10/28のオンライン相談はQRコードからWebExにアクセス 
		10月28日(月)	16:10 ~ 18:30	オンライン(WebEx)	
		11月6日(水)	12:00 ~ 13:00	本館5階521工藤研究室	

式見 拓仙	統計学	10月10日(木)	12:00 ~ 16:00	東南アジア研究所2階214	事前にメールで日程を調整すること。
		10月11日(金)	12:00 ~ 16:00	東南アジア研究所2階214	
徐 陽	制度会計	随時。申し込みの際に複数の希望日時候補をメール (jxuyang@nagasaki-u.ac.jp) にてご連絡ください。		本館5階508研究室	事前にメールでアポを取ること
白水 桂子	社会言語学	10月17日(木)	~	オンラインによる面談	応募を検討している場合は、必ず個別相談(オンライン、またはメールで)をしてください。オンラインでの面談日時は相談の上、決定します。確実に連絡が取れるメールアドレスで「ゼミの個別面談希望」の件名でメールを送って下さい。
		10月28日(月)	~	オンラインによる面談	
鈴木 崇文	国際貿易政策	随時		本館6階624鈴木(崇)研究室	事前にメールでアポを取って下さい。 takafumi.suzuki@nagasaki-u.ac.jp
鈴木 斉	コンピュータセキュリティ	応相談		本館6F631鈴木研究室	事前にメールでアポを取ること
高井 計吾	マネジメントの実践	随時			事前にメールでアポイントメントを取ってください。オンライン希望の方はメールでその旨ご連絡ください。
趙 文静	民法問題の研究	10月10日(木)	12:10 ~ 13:00	本館5階504研究室	事前にメールでアポを取ること
		10月25日(金)	12:10 ~ 13:00	本館5階504研究室	
		11月6日(水)	12:10 ~ 13:00	本館5階504研究室	
津留崎 和義	マネジメントの実践	11月12日(火)	18:00 ~ 19:00	本館6階601研究室	
杜 依濛	環境経済学	10月16日(水)	10:10 ~ 11:00	本館5階 523研究室・	事前にメールでアポを取ること (メールの件名は「個別相談希望、学生番号、氏名」と記載) 連絡先: sissitoh@gmail.com
		10月24日(木)	10:10 ~ 11:00	本館5階 523研究室・	
		11月6日(水)	12:10 ~ 13:00	本館5階 523研究室・	
成田 真樹子	世界経済論	10月29日(火)	16:00 ~ 18:00	本館5階511研究室	希望者は事前にメールしてください。これ以外の日程でも対応可能ですので、希望者はメールで希望日時を記載してください。
		11月6日(水)	14:30 ~ 16:30	本館5階511研究室	
西村 宣彦	イノベーション実践研究	10月15日(火)	16:10 ~ 18:00	本館6階605西村研究室	事前にメールでアポを取ること

林 徹	経営学	10月10日(木)	13:00 ~ 21:00	本館6階627ハヤシ研究室	これら以外の日時（土日・6-7校時の時間帯を含む）でも調整できます。ZOOMにも応じます。 thaya@nagasaki-u.ac.jp 連絡してください。 個別相談を実施した応募者に対しては面接を実施しません。
		10月16日(水)	8:00 ~ 12:00	本館6階627ハヤシ研究室	
		10月23日(水)	8:00 ~ 12:00	本館6階627ハヤシ研究室	
		10月24日(木)	13:00 ~ 21:00	本館6階627ハヤシ研究室	
		10月30日(水)	8:00 ~ 12:00	本館6階627ハヤシ研究室	
		11月6日(水)	8:00 ~ 12:00	本館6階627ハヤシ研究室	
		11月14日(木)	13:00 ~ 21:00	本館6階627ハヤシ研究室	
原 由紀恵	Linguistics	10月16日(水)	12:30 ~ 14:00	Zoom/本館5階509	Make sure to make an appointment with Yukie HARA in advance at harayukie@nagasaki-u.ac.jp
		10月30日(水)	12:30 ~ 14:00	Zoom/本館5階509	
		11月13日(水)	12:30 ~ 14:00	Zoom/本館5階509	
藤田 泰昌	国際関係論	11月5日(火)	16:30 ~ 17:30	本館6階 藤田研究室	事前にメールでアポを取ること
		11月11日(月)	16:30 ~ 17:30	本館6階 藤田研究室	
辺見 英貴	マネジメントの実践	10月15日(火)	16:00 ~ 17:00	本館6階608辺見研究室	事前にメールでアポを取ること
		10月22日(火)	16:00 ~ 17:00	本館6階608辺見研究室	
丸山 真純	異文化コミュニケーション研究	10月29日(火)	12:10 ~ 15:00	本館5階職員談話室	事前にメールでアポを取ること
		11月5日(火)	12:10 ~ 15:00	本館5階職員談話室	
		11月12日(火)	12:10 ~ 15:00	本館5階職員談話室	
南森 茂太	日本経済史	随時。申し込みの際に複数の希望日 時候補をメール (shigeta373mori@nagasaki-u.ac.jp) にてご連絡ください。		本館6階625研究室	
三輪 加奈	開発経済研究	10月23日(水)	12:10 ~ 13:00	本館6階623研究室	事前にメールでアポを取ること (都合がつかない場合はその他の日時でも調整可能)
		11月11日(月)	12:10 ~ 13:00	本館6階623研究室	
		11月14日(木)	12:10 ~ 13:00	本館6階623研究室	
森田 顕仁	租税法研究	10月15日(火)	14:00 ~ 17:00	本館6階602研究室	事前にメールで日程調整すること ※メールアドレスはシラバス参照
		10月22日(火)	14:00 ~ 17:00	本館6階602研究室	
		10月29日(火)	14:00 ~ 17:00	本館6階602研究室	
山口 純哉	地域経済学	11月6日(水)	13:00 ~ 18:00	本館3階オープンラボ2	事前にメールでアポを取ること
		11月11日(月)	17:00 ~ 19:30	本館3階オープンラボ2	

吉沢 裕典	ミクロ経済学	10月11日(金)	14:30 ~ 16:00	本館5階510吉沢研究室	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 応募に際しては、個別相談の時間などを利用し、内容などに関して事前に必ず説明を受けてから応募すること。事前説明を受けない者は受入不可。事前にメールをもらえば、個別相談の時間以外も可能な限り対応する。</li> </ul>
		10月18日(金)	14:30 ~ 16:00	本館5階510吉沢研究室	
		10月25日(金)	14:30 ~ 16:00	本館5階510吉沢研究室	
林 麗桂	組織行動研究	10月18日(金)	12:00 ~ 12:50	本館5階531研究室	事前にメールでアポを取ること
		10月25日(金)	12:00 ~ 12:50	本館5階531研究室	
		11月8日(金)	12:00 ~ 12:50	本館5階531研究室	

# 教員研究室及び演習室配置図

令和6年10月1日現在

## ○本館 6階

複写室	男子トイレ	三輪	鈴木(崇)	南森		林(徹)		階段	EV	木村	鈴木(齊)	
階段	津留崎	森田	今仁	桑波田	西村	藤田	丸山(真)	辺見			神菌	式見(雅)

## 5階

工藤	女子トイレ	杜		高井	オープンラボ	オープンラボ		階段	EV		林(麗)	小野
階段	島田	林川	AMARO ,Bebio	趙	職員談話室	井田		徐	原	吉沢	成田	大角

## 4階

43 演習室	男子トイレ	44演習室	45演習室	46 演習室	情報化 推進室			階段	EV		MS1
階段		41演習室	42演習室	院生(D)研究室				MS3			MS2

## 3階

メンテナンス ルーム	女子トイレ	オープンラボ			34 演習室	リフレッシュルーム		階段	EV	オープンラボ	
階段	オープンラボ		オープンラボ		31 演習室	32 演習室		33演習室		オープンラボ	

## ○東南アジア研究所

### 3階

共同研究室4					階段	女子トイレ	男子トイレ			
	森保		井畑			EV				岡田

### 2階

山口			共同研究室3		階段	女子トイレ	男子トイレ			
式見(拓)						EV	宇都宮	白水		宍倉

### 1階

書庫	電気室		階段	女子トイレ	男子トイレ	資料室 1	資料室 2
	資料整理室 (事務室)			EV	談話・リフレッシュ コーナー	ファカルティー セミナー室	

## 演習題目及び担当教員一覧(教員名50音順)

演習題目	早期卒業予定者受入れ	職名	教員名	アドレス	内線	研究室	頁
Research on Urban Environments & Spaces		助教	VIEIRA AMARO, Bebio	bvamaro@nagasaki-u.ac.jp	398	本5階	1
憲法問題の探究		教授	井田 洋子	smile@nagasaki-u.ac.jp		本5階	6
競争法(独占禁止法)研究		教授	井畑 陽平	ibata@nagasaki-u.ac.jp		東ア3階	8
企業ファイナンス		助教	今仁 裕輔	y_imani@nagasaki-u.ac.jp		本6階	10
人的資源管理	○	准教授	宇都宮 謙	yuzuru@nagasaki-u.ac.jp	384	東ア2階	12
解析学を中心に数学に親しむ	○	准教授	大角 道子	ohgaku@nagasaki-u.ac.jp		本5階	14
管理会計論	○	准教授	小野 哲	onotetsu@nagasaki-u.ac.jp	360	本5階	16
証券投資論	○	准教授	神蘭 健次	k-kamiz@nagasaki-u.ac.jp	377	本6階	19
マネジメントの実践		教授	木村 眞実	mkimura@nagasaki-u.ac.jp		本6階	21
経済政策	○	准教授	工藤 健	tkudo@nagasaki-u.ac.jp	369	本5階	23
統計学	○	准教授	式見 拓仙	shikimi@nagasaki-u.ac.jp		東ア2階	26
公共経済研究	○	教授	宍倉 学	shishi@nagasaki-u.ac.jp	396	東ア2階	28
制度会計	○	教授	徐 陽	jxuyang@nagasaki-u.ac.jp	373	本5階	30
社会言語学		講師	白水 桂子	kuwata@nagasaki-u.ac.jp		東ア2階	32
国際貿易政策		教授	鈴木 崇文	takafumi.suzuki@nagasaki-u.ac.jp		本6階	34
コンピュータセキュリティ		講師	鈴木 斉	sigh@nagasaki-u.ac.jp	372	本6階	36
マネジメントの実践		助教	高井 計吾	kegotak@nagasaki-u.ac.jp		本5階	39
民法問題の研究	○	助教	趙 文静	zwjshmhxs@yahoo.co.jp		本5階	41
マネジメントの実践		准教授	津留崎 和義	turusaki@nagasaki-u.ac.jp		本6階	43
環境経済学		助教	杜 依濛	sissitoh@gmail.com		本5階	45
世界経済論		准教授	成田 真樹子	makki@nagasaki-u.ac.jp		本5階	47
イノベーション実践研究		教授	西村 宣彦	nishimra@nagasaki-u.ac.jp	382	本6階	49
経営学	○	教授	林 徹	thaya@nagasaki-u.ac.jp	368	本6階	51
Linguistics		助教	原 由紀恵	harayukie@nagasaki-u.ac.jp		本5階	53
国際関係論		准教授	藤田 泰昌	fujitatf@nagasaki-u.ac.jp		本6階	56
マネジメントの実践		助教	辺見 英貴	hidetaka.hemmi@nagasaki-u.ac.jp		本6階	58
異文化コミュニケーション研究		准教授	丸山 真純	masazumi@nagasaki-u.ac.jp		本6階	60
日本経済史		准教授	南森 茂太	shigeta373mori@nagasaki-u.ac.jp		本6階	62
開発経済研究	○	教授	三輪 加奈	k-miwa@nagasaki-u.ac.jp		本6階	64
租税法研究	○	准教授	森田 顕仁	akihito.m@nagasaki-u.ac.jp	331	本6階	66
計量経済学とデータサイエンス		教授	森保 洋	moriyasu@nagasaki-u.ac.jp		東ア3階	68
地域経済学		准教授	山口 純哉	junya-y@nagasaki-u.ac.jp		東ア2階	70
ミクロ経済学	○	准教授	吉沢 裕典	yoshizawa@nagasaki-u.ac.jp		本5階	72
組織行動研究	○	助教	林 麗桂	linty1210@nagasaki-u.ac.jp		本5階	75

〈注〉研究室欄 本：本館 東ア：東南アジア研究所 研究室は、本冊子末尾の配置図を参照のこと。

※電話をかけるときは、各教員の内線番号の前に「095-820-6」をつける。

※携帯電話からメールを送信する場合は受信拒否設定を解除しておくこと。

教員からの返答が滞る場合は、必ず確認をとること。

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Oth. 0
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2026/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	4.0/4.0/4.0
時間割コード / Time schedule code	20251510000701	科目番号 / Course code	15100007
科目ナンバリングコード / Numbering code	ECET 38360_398_2		
授業科目名 / Course title	専門ゼミ / Special Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	VIEIRA AMARO, Bebio / VIEIRA AMARO, Bebio		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	VIEIRA AMARO, Bebio / VIEIRA AMARO, Bebio		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	VIEIRA AMARO, Bebio / VIEIRA AMARO, Bebio		
科目分類 / Course Category	演習, 自由専門科目		
対象年次 / Intended year	3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room			
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	3rd year undergraduate students of the Faculty of Economics. 3年次で経済学部で定める必要単位数を修得した学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	bvamaro_nagasaki-u.ac.jp (Please change to @ when sending your e-mails.)		
担当教員研究室/Office	Faculty of Economics, Main Building, 5th Floor, Room 503 (経済学部本館5階503番研究室)		
担当教員TEL/Tel	095-820-6398		
担当教員オフィスアワー/Office hours	Students must send an email first to schedule an appointment. Normally, office hours are on Thursdays, 15:00-17:00.		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>Seminar Title (演習題目): Research on Urban Environments &amp; Spaces (都市環境・空間の研究)  Research Themes (課題テーマ): Introduction to GIS for Analysing Urban Problems (都市問題の分析への地理情報学入門)  Seminar Contents &amp; Teaching Method (内容と方法):</p> <p>Important Note: this Special Seminar (for 3rd year students) and the Graduation Thesis Seminar (for 4th year students) will be conducted entirely in English.  専門ゼミかつ卒研ゼミは完全に英語で実施される。</p> <p>GIS (Geographic Information Systems) is a type of software that is used mostly for mapping the world around us (ex: Google Maps, GPS navigation, etc.), but it can also be used for understanding various types of urban problems, such as: changes in land prices, economic inequality between communities, pollution, population dynamics, disaster vulnerability, mobility, access to crucial services such as health care, logistics, revitalization of historical urban centers, positioning of important infrastructure, etc.</p> <p>This seminar is divided into two semesters:</p> <p>[First Semester]  In the first 15 classes, students will learn the basic functions of two open-source software programs named QGIS and Zotero. With these two tools, students will collect data related to their chosen research topic, read and discuss academic papers/online videos in English, and review how to write in Academic English (especially footnotes and bibliographies).  Depending on the number of students, the work of reading and presenting the contents of academic papers might be done either individually, or as a group activity.</p> <p>[Second Semester]  If necessary, students will continue to read and debate the contents of academic papers in English. at the same time, students will regularly present the progress of their research topic to other students. Students must make comments on each others' work, and make suggestions for improvement.</p> <p>At the end of the year, students must submit a final report (6-10 A4 pages) with a detailed proposal for their graduation thesis. In the 4th year "Graduation Thesis</p>		

<p>授業到達目標/Course goals</p>	<p>[1] To understand the basic concepts of Geographical Information Systems and Spatial Analysis.  [2] Learn the basic features of QGIS and how to use open data (available on the internet) for conducting simple types of spatial analysis.  [3] Learn where to find statistical data (ex: in libraries and government buildings) and how to digitize such data in order to insert it into QGIS.  [4] Practice reading and discussing challenging English academic papers related to the topics of spatial analysis, community culture, politics, psychology, healthcare, economics, etc.  [5] Practice how to collect and organize data in order to improve your graduation thesis research proposal.  [6] Learn how to write footnotes and bibliographies in a rigorous manner.  These goals are linked to the following Diploma Policy (DP) goals of the Faculty of Economics:  DP-5: To attain the ability of acquiring knowledge and using it in various ways to discover/create new values, and also to convey your findings to other people.</p> <p>[1] 地理情報システム (GIS) と空間分析の基本的な概念を理解すること。  [2] QGISの基本機能と、インターネット上で利用可能なオープンデータを使用して、簡単な空間分析の方法を把握すること。  [3] 統計データの探し方 (例: 図書館や政府機関) を学び、そのデータをデジタル化してQGISに挿入する方法を理解すること。  [4] 空間分析、コミュニティのカルチャー・日常的な振る舞い、政治、心理学、ヘルスケア (例: 精神的健康)、経済などのテーマに関連する英語の学術論文を解読し、討論すること。  [5] 卒業論文研究計画を改善するために、データを収集し整理する方法を身につけること。  [6] 注釈や参考文献を厳密に書く方法をマスターすること。</p> <p>本専門ゼミは次のDPを授業到達目標としています。  (経済学部ウェブサイトの「受講の手引き(学部)」に掲載されてある「カリキュラム・マップ」を参照。)</p>
<p>知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course ( pick 1 to 3 )</p>	<p>汎用的能力 / Generic Competence    倫理観 / Ethics    多様性の理解 / Understanding Diversity    主体性 / Autonomy    協働性 / Cooperativeness    考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas    国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>
<p>学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking</p>	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br&gt;/ Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over  B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br&gt;/ Activities involving others to think from various perspectives  C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br&gt;/ Activities to practice for acquiring skills  D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br&gt;/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems  E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br&gt;/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above  F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br&gt;/ It consists only of lectures from teachers</p>
<p>成績評価の方法・基準等/Method of evaluation</p>	<p>[1] Student Attendance &amp; Participation (Activities/Discussions/Peer feedback): 40%  [2] Class Assignments (presentations, final report): 60%</p> <p>Note: students are expected to take this seminar very seriously, do the necessary work each week, come to every class on time, and provide good feedback for other students' work. Otherwise, they might be at risk of failing the seminar.</p>
<p>各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson</p>	<p>詳細は授業計画詳細を参照</p>
<p>事前、事後学修の内容/Preparation &amp; Review</p>	<p>Preparation before each class: read the assigned materials (academic papers, online videos, etc.) and prepare careful notes. In some cases, it might be necessary to prepare a simple presentation of the materials for other students to discuss. Students should also regularly visit libraries to collect data related to their research topic.  (Time: usually 1-2 hours per week, but in rare cases it might reach as high as 4-5 hours per week).</p> <p>Review after each class: there is no review or any other similar activities.</p>
<p>キーワード/Keywords</p>	<p>GIS, Urban Environment, Urban Revitalization, Spatial Analysis</p>

教科書・教材・参考書/Materials	<p>All of the necessary reading materials will be provided by the teacher during the first class. If students want to get a quick idea about the contents of the seminar, they can take a look at the following books at the library:</p> <p>[1] Title: A manual for writers of research papers, theses, and dissertations : Chicago Style for students and researchers  Author: Kate L. Turabian ; revised by Wayne C. Booth ... [et al.]  Publication info: University of Chicago Press, Chicago ; London, United States, 2018  Catalog key: BB25920622  URL: <a href="https://opac.lb.nagasaki-u.ac.jp/opc/recordID/catalog.bib/BB25920622">https://opac.lb.nagasaki-u.ac.jp/opc/recordID/catalog.bib/BB25920622</a>  Format: Book</p> <p>[2] Title: Spatial economic analysis : the journal of the Regional Studies Association, Regional Science Association International British and Irish Section  Author: Regional Studies Association (Seaford, England); Regional Science Association International. British and Irish Section  Publication info: Routledge, Abingdon, United Kingdom, 2000  Catalog key: AA1219220X  URL: <a href="https://opac.lb.nagasaki-u.ac.jp/opc/recordID/catalog.bib/AA1219220X">https://opac.lb.nagasaki-u.ac.jp/opc/recordID/catalog.bib/AA1219220X</a>  Format: Journal</p> <p>[3] Title: シカゴ・スタイル研究論文執筆マニュアル  Author: ケイト・L・トゥラビアン編 ; ウェイン・C・ブース [ほか] 改訂 ; 沼口隆, 沼口好雄訳  Publication info: 慶應義塾大学出版会, 東京, Japan, 2012  Catalog key: BB10584055  URL: <a href="https://opac.lb.nagasaki-u.ac.jp/opc/recordID/catalog.bib/BB10584055">https://opac.lb.nagasaki-u.ac.jp/opc/recordID/catalog.bib/BB10584055</a>  Format: Book</p> <p>[4] Title: 地域研究のための空間データ分析入門 : QGISとPostGISを用いて  Author: 愛知大学三遠南信地域連携研究センター編 ; 蔣湧 [ほか] 著  Publication info: 古今書院, 東京, Japan, 2019  Catalog key: BB28037766  URL: <a href="https://opac.lb.nagasaki-u.ac.jp/opc/recordID/catalog.bib/BB28037766">https://opac.lb.nagasaki-u.ac.jp/opc/recordID/catalog.bib/BB28037766</a>  Format: Book</p>
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	<p>Requirements regarding registration in other courses: none. In other words, students are not required to have taken other specific courses before this seminar.  受け入れコース・領域 : コースは問わない。</p> <p>Recommendations for taking other classes before applying for this seminar: if possible, it is recommended to take the "Academic English" course before registering for this seminar, and to take a close look at the list of recommended books.  あらかじめ履修しておくことが望ましい科目や受講前の準備 : 要件ではないが、可能であれば、本ゼミを登録する前に「Academic English」の科目を履修し、推奨図書のリストをよく確認することをお勧めする。</p> <p>Possibility of doing an early graduation: It is not allowed to take this "Special Seminar" and the "Graduation Seminar" at the same time.  早期卒業受け入れ : 否</p> <p>Other prerequisites: none.  その他必要な要件 : なし</p>
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先  (TEL) 095-819-2006  (FAX) 095-819-2999  (E-MAIL) support ml.nagasaki-u.ac.jp</p>

備考 (URL) /Remarks (URL)	<p>[1] This seminar will only be taught face-to-face, in English.</p> <p>[2] If a student repeatedly fails to arrive on time for class (or misses three or more classes in a row) without a good reason, they might lose a lot of points during the final evaluation.</p> <p>[3] Students are expected to bring their laptops to every class. They are also required to install in their laptops the free software programs QGIS and Zotero.</p> <p>[4] The contents of each class and overall structure of the course might change slightly, depending on the final number of students and their research topics.</p> <p>[5] Since this seminar can receive students from very different backgrounds, a small number of the first lectures might repeat contents from other courses, such as "Academic English." This is done to ensure that all students are at a similar academic level before starting their research.</p> <p>[6] Instructions for applying to this course: before the interview date, send an email to the teacher, with the subject words "Application Request for Special Seminar (Student Name + Number)." Also attach to the email a Word file (A4 size, 1 page maximum) with the following information in English: (a) Student Name &amp; Number; (b) a quick self-introduction; (c) why you are interested in taking this seminar; (d) what is the general research topic that you are interested in investigating; (e) which interview date you wish to choose. The interview will be conducted in English..</p> <p>[7] If too many students apply for this course, the final selection will be made by considering the overall English ability of each student, their selected research topic, and their grades in the previous two years of undergraduate study.</p> <p>[1] 本ゼミは英語で、対面形式のみで実施される。</p> <p>[2] 学生が正当な理由なく授業に遅刻を繰り返したり、3回以上連続して欠席した場合、最終評価で多くの点数を失う可能性がある。</p> <p>[3] 学生は毎回の授業にノートパソコンを持参することが求められている。また、ノートパソコンに無料ソフトウェアのQGISとZoteroをインストールすることが必須である。</p> <p>[4] 各授業の内容やコース全体の構成は、最終的な学生数や研究テーマによって若干変更される場合がある。</p> <p>[5] 本ゼミには異なる背景を持つ学生が参加できるため、最初の数回の講義で「Academic English」など他の科目の内容を繰り返すことがある。これは、自分の研究を開始する前に全ての学生がほぼ同じ学術レベルに到達することを目的としている。</p> <p>[6] 本ゼミに応募するための指示：面談の前に、件名に「Application Request for Special Seminar (学生名+学籍番号)」と記載したメールを教員に送信してください。また、以下の情報を英語で記載したWordファイル(A4サイズ用紙、1ページ以内)をメールに添付してください：(a) 学生名と学籍番号、(b) 簡単な自己紹介、(c) このセミナーに興味を持った理由、(d) 取り組みたい研究テーマ、(e) 希望する面接日。面接は英語で行われる。</p>
-------------------------	---

<p>学生へのメッセージ/Message for students</p>	<p>As is common knowledge, this "Special Seminar" lasts 1 full year, and it is connected with the "Graduation Thesis Seminar," which also lasts one full year. In total, students must spend a period of two years (the 3rd and 4th years) studying under the same teacher. Therefore, in order for students to achieve the best possible results, they must be prepared to make a serious commitment of their time and energy on a weekly basis. This seminar expects students to be self-disciplined, to communicate regularly with the teacher, to be trustworthy, and to have good time management skills. Also, even though the first half of the seminar will have lectures where students must learn things in a passive manner, it will also ask students to study relatively challenging academic papers in English, to comment on each others' work, to discuss difficult topics, and to present their own work to other students. Finally, students are expected to take on a positive and proactive attitude towards their learning, and to use their free time to do fieldwork surveys, or search for statistical data in libraries or city halls, etc. In some cases, students might also have to use their free time to transcribe statistical data into spreadsheets or digitize old maps in QGIS. When students write their final report, they must include a broad list of bibliographic references, written impeccably according to a major citation style such as Chicago, or MLA, etc.</p> <p>In sum, please consider the contents of this syllabus and the requirements of this seminar very carefully before preparing your application.</p> <p>周知のとおり、この「専門ゼミ」は1年間続き、「卒研ゼミ」とも連携している。卒研ゼミも1年間続くため、学生は3年次と4年次の合計2年間、同じ教員の下で学ぶことになる。したがって、最良の結果を得るためには、学生は毎週、十分な時間とエネルギーを真剣に投入する覚悟を持つ必要がある。本セミナーでは、自己規律を持ち、教員と定期的にコミュニケーションを取り、信頼されること、そして時間管理能力が求められる。</p> <p>また、セミナーの前半では、学生が受動的に学ぶ講義もあるが、比較的の難易度の高い英語の学術論文を読んだり、互いの作業にコメントをしたり、難しいトピックについて討論し、自分の研究を他の学生に発表することも求められる。さらに、学生は積極的かつ前向きな姿勢で学習に取り組み、自由時間を活用してフィールドワーク調査を行ったり、図書館や市役所で統計データを探したりすることが期待されている。場合によっては、自由時間を使って統計データをスプレッドシートに転記したり、古い地図をQGISでデジタル化することも必要になる場合もある。</p> <p>学生が最終レポートを作成する際には、シカゴやMLAなど、主要な引用スタイルに従って完璧に書かれた広範な文献リストを含める必要がある。</p>
<p>実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience</p>	<p>N</p>
<p>実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course</p>	
<p>授業計画詳細 / Course Schedule</p>	
<p>回(日時) / Time(date and time)</p>	<p>授業内容 / Contents</p>
<p>1~15</p>	<p>[First Semester Classes] Revision of How to Write in Academic English; Introduction to QGIS; Presentation and Discussion of Academic Papers/Online Videos.</p>
<p>16~30</p>	<p>[Second Semester Classes] Presentation and Discussion of Academic Papers/Online Videos; Presentation and Discussion of Each Student's Research Topic/Report.</p>

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Oth. 0
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2026/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	4.0/4.0/4.0
時間割コード / Time schedule code	20251510000702	科目番号 / Course code	15100007
科目ナンバリングコード / Numbering code	ECET 38360_398_2		
授業科目名 / Course title	専門ゼミ / Special Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	井田 洋子 / Ida Yoko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	井田 洋子 / Ida Yoko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	井田 洋子 / Ida Yoko		
科目分類 / Course Category	演習, 自由専門科目		
対象年次 / Intended year	3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room			
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	3年次以上で経済学部で定める必要単位数を修得した学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	Eメールアドレス: smile@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	経済学部本館5階506研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	基本的には、木曜日の3限とする。左記の時間帯を含め、質問等で面談を求める場合は、まずメールにて要請を行うこと。 Eメールアドレス: smile@nagasaki-u.ac.jp		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>以下の内容を記入ください。 演習題目: 憲法問題の探究 比較的手法を用いながら</p> <p>【内容と方法】 内容: 世界各国の憲法の規定内容や憲法理念をめぐる具体的問題を比較法的に考察する作業を通して、国の根本規範である憲法の存在意義ならびに日本国憲法における普遍的な価値と独自の価値について改めて確認する。加えて、受講生が、憲法と自身の生活との密接な繋がりを認識し、憲法理念を活かすという作業の重要性に気づくことを目指す。 方法: (専門ゼミ)ゼミ生が主体となって研究・発表・議論を行うものとする。具体的な演習の進め方については、最初の時間にゼミ生と相談して決定する。 (卒研ゼミ)各自、自らが選択したテーマに即した研究方法を用いて研究を行い、その成果を卒論という形で発表する。</p>		
授業到達目標/Course goals	専門ゼミは次のDPを授業到達目標としています。 DP-5: 獲得した知識を駆使して新たな価値を創造するとともに、これを発信する能力を身につけている。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br&gt; Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br&gt; Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br&gt; Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br&gt; Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br&gt; Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br&gt; It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業参加度(20%)、授業への取組み・貢献度(25%)、研究報告内容(レジュメ及びパワーポイントの作成を含む)並びにディスカッションの内容(55%)の総合評価とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：自身が担当しない研究報告のテーマと関連する国内外ニュース記事等チェックする。(2h) 事後学習：研究報告とディスカッションをふまえ、それに関係するさらなる文献等に目を通した上でレポートを作成する。(2h)
キーワード/Keywords	立憲主義・民主主義・国民主権・基本的人権の保障・平和主義
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は特にせず、研究テーマごとにその都度推薦することとする。 【参考文献】 初宿正典・辻村みよ子編『新解説世界憲法集第4版』三省堂 高橋和之編『新版 世界憲法集』岩波書店
受講要件(履修条件)/Prerequisites	以下の内容を記入ください 受け入れコース・領域：すべてのコース・領域  早期卒業受け入れ：否 その他必要な要件：特になし
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2999 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp
備考(URL)/Remarks (URL)	対面で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	日本だけでなく国際社会の動向に関心・興味を持つ学生、また、英語で書かれた文献を読むことを厭わない学生を望む。
実務経験のある教員による授業科目であるか(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	自己紹介及び研究テーマ、方法についての協議。
第2回	研究テーマ(複数)の決定及び優先順位の確定、グループ分け。
第3回	グループ単位の作業。または担当教員による講義。
第4回	グループごとのプレゼンテーション及び全体での討論。
第5回	前回の討論を受けてさらなる研究テーマの設定。グループ再編成の可能性あり。
第6回	グループ単位の作業。
第7回	グループごとのプレゼンテーション及び全体での討論。第1テーマについての総括。
第8回	新しいテーマへの移行。グループ再編成あるいは個人による作業。
第9回	グループまたは個人単位の作業。あるいは担当教員による講義。
第10回	グループまたは個人単位の作業。
第11回	グループまたは個人単位での発表及び全体討論
第12回	同上。上記を受けてのテーマの拡大。研究内容の分担。グループまたは個人単位の作業。
第13回	グループまたは個人単位での作業。教員による補足説明等。
第14回	グループ及び個人による発表及び討論。
第15回	同上。テーマの総括。
第16回	全体の総括。及び教員による卒論作成に向けての説明。

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Oth. 0
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2026/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	4.0/4.0/4.0
時間割コード / Time schedule code	20251510000703	科目番号 / Course code	15100007
科目ナンバリングコード / Numbering code	ECET 38360_398_2		
授業科目名 / Course title	専門ゼミ / Special Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	井畑 陽平		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	井畑 陽平		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	井畑 陽平		
科目分類 / Course Category	演習, 自由専門科目		
対象年次 / Intended year	3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	3年次以上で経済学部で定める必要単位数を修得した学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ibata nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	東南アジア研究所		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	演習終了後に適宜対応する時間を設ける予定です。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>演習題目：競争法(独占禁止法)研究          課題テーマ：GAFAなどデジタルプラットフォームに経済力が集中している現状は独禁法に違反しないのか、iPhoneにアプリをインストールしようとしたら、App Storeを使うしかないのは独占なのか(私的独占)、コンビニの24時間営業モデルは独禁法に違反するのか(優越的地位の濫用)、LINEとヤフーの統合は競争を毀損しないのか(企業結合規制)など、近時の独占禁止法に関する重要なテーマについて理解を深める。          内容与方法：文献の概要報告、概要報告を踏まえた議論、ディベート、卒業論文で取り上げるテーマに関する研究発表を行うことで進める。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>経済学部HPの「受講の手引き(学部)」にあるカリキュラム・マップ」を見てください。          専門ゼミは次のDPを授業到達目標としています。          DP-5：獲得した知識を駆使して新たな価値を創造するとともに、これを発信する能力を身につけている。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br&gt;/ Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over          B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br&gt;/ Activities involving others to think from various perspectives          C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br&gt;/ Activities to practice for acquiring skills          D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br&gt;/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems          E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br&gt;/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above          F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br&gt;/ It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	<p>演習における課題の報告(50%)、他の学生の報告に関する積極的なコメント・発言(20%)、演習の運営に対する積極的な貢献(30%)に基づき、総合的に評価する。          なお、「演習の運営に対する積極的な貢献」には、メール等により、教員と円滑なコミュニケーションを取ることが出来るかどうかが含まれる。</p>		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学修の内容/Preparation & Review	(事前学習) 毎回、協議の上担当者を決め、課題について報告するので、課題に関係する文献の読み込みや演習で発表することに向けた準備をするよう求められる。(3h) (事後学習) 報告後、教員や他の学生から受けたコメントを踏まえてさらに改善することが求められる。(1h)
キーワード/Keywords	独占禁止法、競争法、法律、法の適用、法の解釈
教科書・教材・参考書/Materials	詳細は、演習時に、適宜、紹介・説明する。例として、以下のものを考えている。ただし、決定したわけではない。 【経済学指向のテキスト】 大橋 弘『競争政策の経済学』日本経済新聞出版 小田切宏之『産業組織論 理論・戦略・政策を学ぶ』有斐閣 伊藤元重『ビジネス・エコノミクス〔第2版〕』日本経済新聞社 【法学指向のテキスト】 ・デビッド ガーバー(白石忠志訳)『競争法ガイド』東京大学出版会 ・長澤哲也『独禁法務の実践知』有斐閣 ・土田和博ほか『条文から学ぶ独占禁止法〔第3版〕』有斐閣 ・菅久修一(編)『独占禁止法〔第5版〕』商事法務 ・泉水文雄ほか『経済法判例百選〔第3版〕』有斐閣 <a href="https://www.courts.go.jp/saikosai/index.html">https://www.courts.go.jp/saikosai/index.html</a> 最高裁判所 <a href="https://www.jftc.go.jp/">https://www.jftc.go.jp/</a> 公正取引委員会 たまには、このようなサイトをご覧になるのもよいかもかもしれません。
受講要件(履修条件)/Prerequisites	受け入れコース: 全てのコース あらかじめ履修しておかなければならない科目や受講前の準備: 法学概論については履修済みであることが、独占禁止法・経済法(及び )については履修済み又は今後履修予定であることが、望ましい。 早期卒業受け入れ: 否 その他必要な要件: 演習については、メールを用いた連絡をする機会があるので、こまめにメールをチェックし対応出来る学生を優先して受け入れる。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	"長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2999 (E-MAIL) support ml.nagasaki-u.ac.jp"
備考(URL)/Remarks (URL)	本ゼミは、対面方式で実施します(2024年8月30日時点での予定)。
学生へのメッセージ/Message for students	・時間と労力を惜しまず、企業の競争に関わる法と経済・社会問題について考えを深めたい、学びたい、という姿勢の学生を歓迎する。 ・演習は月曜日開講を予定している。演習が定刻通りに終了するかどうか事前には分からないことから、演習後の時間帯について、都合を付けて比較的調整出来る学生を優先して受け入れる。 ・以前に勤務していた大学では、他大学の独禁法ゼミ(中央大学、立教大学等)と勉強・交流合宿をおこなっていたこともある。
実務経験のある教員による授業科目であるか(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y / JICA・公正取引委員会共催の途上国向け競争当局職員研修において独禁法を教授
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回から第30回	輪読、研究報告、ディスカッション(詳細な計画については、LACS等を用いて、随時配付する資料により説明します)

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Oth. 0
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2026/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	4.0/4.0/4.0
時間割コード / Time schedule code	20251510000704	科目番号 / Course code	15100007
科目ナンバリングコード / Numbering code	ECET 38360_398_2		
授業科目名 / Course title	専門ゼミ / Special Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	今仁 裕輔 / IMANI Yusuke		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	今仁 裕輔 / IMANI Yusuke		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	今仁 裕輔 / IMANI Yusuke		
科目分類 / Course Category	演習, 自由専門科目		
対象年次 / Intended year	3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room			
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	3年次以上で経済学部で定める必要単位数を修得した学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	y_imani@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	経済学部本館6階603号室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義後随時受け付ける		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>演習題目: 企業ファイナンス          課題テーマ: 企業の資金調達及びその使い道の基礎的な理論について学ぶ。          またその理論を検証するための実証分析手法について学ぶ。          内容と方法: 企業金融に関するテキスト、計量経済学に関するテキストを輪読する。また実証分析に必要なプログラミング、文献レビューの方法についても学ぶ。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>経済学部HPの「受講の手引き(学部)」にあるカリキュラム・マップ」を見てください。          専門ゼミは次のDPを授業到達目標としています。          DP-5: 獲得した知識を駆使して新たな価値を創造するとともに、これを発信する能力を身につけている。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br&gt; / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over          B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br&gt; / Activities involving others to think from various perspectives          C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br&gt; / Activities to practice for acquiring skills          D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br&gt; / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems          E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br&gt; / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above          F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br&gt; / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	講義への参加度 (100%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	<p>(予習) 次回のテキスト範囲の要約資料作成。プレゼン担当であればスライド資料作成。その他練習問題等の課題。(2h)          (復習) グループディスカッションで議論した内容の整理。(1h)</p>		
キーワード/Keywords	資金調達/資本構成/フリーキャッシュフロー/平均分散アプローチ/CAPM/コーポレートガバナンス/情報の非対称性/最小二乗法		
教科書・教材・参考書/Materials	<p>テキスト候補は未定です。2024年度は以下を使用しました。          ジョナサン・パーク, ピーター・ディマーズ「コーポレートファイナンス 入門編」 桐原書店</p>		

受講要件 (履修条件) /Prerequisites	受け入れコース：全てのコース あらかじめ履修しておかなければならない科目や受講前の準備：ミクロ経済学、計量経済学、金融論に関連する講義を多く履修しているほど望ましい。必要に応じて該当科目を履修してもらう予定です。 早期卒業受け入れ：否 その他必要な要件：特になし
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2999 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks (URL)	対面形式で行います。
学生へのメッセージ/Message for students	毎回の講義は、各受講生が事前に読んできたテキストの内容や、解いてきた練習問題に関するグループディスカッションが中心になります。グループディスカッションに抵抗感がないことが望ましいです。 またデータ分析を行うため、プログラミング言語(基本的にR)を各自で勉強してもらいます。プログラミングに抵抗感がないことが望ましいです。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回-第15回	毎回：企業金融に関するテキストor計量経済学に関するテキストの輪読, ディスカッション
第16回-第30回	毎回：計量経済学orプログラミングに関するテキストの輪読, ディスカッション

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Oth. 0
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2026/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	4.0/4.0/4.0
時間割コード / Time schedule code	20251510000705	科目番号 / Course code	15100007
科目ナンバリングコード / Numbering code	ECET 38360_398_2		
授業科目名 / Course title	専門ゼミ / Special Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	宇都宮 譲 / Utunomiya Yuzuru		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	宇都宮 譲 / Utunomiya Yuzuru		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	宇都宮 譲 / Utunomiya Yuzuru		
科目分類 / Course Category	演習, 自由専門科目		
対象年次 / Intended year	3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room			
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	3年次以上で経済学部で定める必要単位数を修得した学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yuzuru@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	東南アジア研究所209室		
担当教員TEL/Tel	+81958206384		
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時。要予約。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>以下の内容を記入ください。 演習題目：人的資源管理 課題テーマ：あなたとわたしの人的資源管理 内容と方法：</p> <p>1. 教科書購読：教科書を読みます。字が細かいし分厚いし読めなさそうにみえますが、読めます。論文をたくさん読むのとはまた異なる自信がつかます。 2. 工場見学：調査技法習得と自分自身が興味を抱く事柄を明確にするために実施します。ここでは、労働や人的資源にこだわる必要はありません 3. その他いろいろ：懸賞論文に応募します。卒業論文はもちろん執筆します。珍妙な遊びもしなければなりません。</p>		
授業到達目標/Course goals	DP-5：獲得した知識を駆使して新たな価値を創造するとともに、これを発信する能力を身につけている。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br&gt;/ Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br&gt;/ Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br&gt;/ Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br&gt;/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br&gt;/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br&gt;/ It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	文献輪読資料：40% 工場見学資料：40% 懸賞論文(3年)ないし卒業論文(4年)：20%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	特にありません		
キーワード/Keywords	人的資源管理; R; 工場		

教科書・教材・参考書/Materials	Paul Banfield, Rebecca Kay, and Dean Royles. 2018. Introduction to Human Resource Management (3rd. Ed.). OUP Press. isbn: 9780198702825
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	受け入れコース：全てのコース 国際ビジネスプログラム受け入れ：可 早期卒業受け入れ：可
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2999 （E-MAIL）support_ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks (URL)	<a href="http://www.econ.nagasaki-u.ac.jp/staff/yuzuru/seminar/introduction_to_yuzurulab.html">http://www.econ.nagasaki-u.ac.jp/staff/yuzuru/seminar/introduction_to_yuzurulab.html</a>
学生へのメッセージ/Message for students	つづきはWebで。くわしい宇都宮研究室案内です。 <a href="http://www.econ.nagasaki-u.ac.jp/staff/yuzuru/seminar/introduction_to_yuzurulab.html">http://www.econ.nagasaki-u.ac.jp/staff/yuzuru/seminar/introduction_to_yuzurulab.html</a>
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
	(例) 研究報告とディスカッション

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Oth. 0
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2026/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	4.0/4.0/4.0
時間割コード / Time schedule code	20251510000734	科目番号 / Course code	15100007
科目ナンバリングコード / Numbering code	ECET 38360_398_2		
授業科目名 / Course title	専門ゼミ / Special Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大角 道子 / Ogaku Michiko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	大角 道子 / Ogaku Michiko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	大角 道子 / Ogaku Michiko		
科目分類 / Course Category	演習, 自由専門科目		
対象年次 / Intended year	3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room			
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	3年次以上で経済学部で定める必要単位数を修得した学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ohgakuのあとに教員に共通のDomain名をつける。		
担当教員研究室/Office	経済学部本館5階512番研究室		
担当教員TEL/Tel	必要に応じて連絡します。		
担当教員オフィスアワー/Office hours	開校時に連絡します。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	演習題目: 解析学 課題テーマ: 解析学を中心に数学に親しみむ 内容と方法: テキストを精読し, 理解した内容を講義形式で口頭発表することを通じて, 経済学の最近の理論論文を読み解く基礎を養う。		
授業到達目標/Course goals	(DP-5) (価値創造及び発信力): 獲得した知識を駆使して新たな価値を創造するとともに, これを発信する能力を身につけている。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents for the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	講義形式の口頭発表(60%)およびレポート(40%)で評価します。出席点はありませんが、無断欠席は認めません。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習: テキストを読み, 次回講義での発表準備を行う。(2h) 事後学習: 口頭発表時に受けた質問に応えられるようノートを書き直す。(2h)		
キーワード/Keywords	解析学, 数学, 理論モデル		
教科書・教材・参考書/Materials	志賀浩二『ベクトル解析30講』朝倉書店		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	あらかじめ履修しておかなければならない科目や受講前の準備: 経済数学 その他必要な要件: 面接試験に合格した者, 早期卒業予定者の受け入れ可		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2999 （E-MAIL）support_ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	ゼミの実施方法：対面形式
学生へのメッセージ/Message for students	ノートをTexかTypstを使って書くことを推奨します。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1から15回	テキストを精読して講義形式で口頭発表

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Oth. 0
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2026/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	4.0/4.0/4.0
時間割コード / Time schedule code	20251510000706	科目番号 / Course code	15100007
科目ナンバリングコード / Numbering code	ECET 38360_398_2		
授業科目名 / Course title	専門ゼミ / Special Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	小野 哲 / Ono Tetu		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	小野 哲 / Ono Tetu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	小野 哲 / Ono Tetu		
科目分類 / Course Category	演習, 自由専門科目		
対象年次 / Intended year	3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room			
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	3年次以上で経済学部で定める必要単位数を修得した学生。		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	onotetsu@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	本館5階532研究室		
担当教員TEL/Tel	095-820-6360		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日の昼休みもしくはメールにて随時対応します。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>演習題目：管理会計論          課題テーマ：管理会計の基礎を学ぶ          内容と方法：管理会計は、英語でManagement Accountingといえます。MANAGEMENTがついている理由は、管理会計が経営者や管理者のための学問だからです。したがって、管理会計は経営者や管理者が果たさなければならない戦略の策定・実行、業績評価（管理）、（経営）意思決定に対して有用な情報提供し、それらをサポートする役割を持っています。本ゼミナールでは図表や事例が多く記載されたテキストを使用して管理会計の基礎を学ぶことを目的としており、授業では毎回報告者を決め、報告者が担当箇所についてレジメ（担当箇所の説明用の要約版）やスライドなどを作成し、報告者によるプレゼン、報告者との学生及び教員との間でディスカッションを行うという輪読が行われます。</p> <p>なお、授業計画では対面授業が困難な場合リアルタイムオンラインでの実施となるので、ハイフレックス型授業としています。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>経済学部HPの「受講の手引き（学部）」にあるカリキュラム・マップ」を見てください。          専門ゼミは次のDPを授業到達目標としています。          DP-5：獲得した知識を駆使して新たな価値を創造するとともに、これを発信する能力を身につけている。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course ( pick 1 to 3 )	<p>汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding          Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br&gt; Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over          B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br&gt; Activities involving others to think from various perspectives          C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br&gt; Activities to practice for acquiring skills          D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br&gt; Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems          E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br&gt; Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above          F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br&gt; It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	<p>学生が作成するスライド60点（プレゼン含む）+ 授業への参加態度（ループリックを用いて評価する）40点 = 100点のうち60点以上を合格とします。</p>		

各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照	
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	【予習】テキストの該当範囲について事前に読んでおくこと（2h）。 【復習】授業内容およびレジュメや配布資料をもとに復習すること（2h）。	
キーワード/Keywords	業績評価（管理）会計 意思決定会計 戦略的管理会計	
教科書・教材・参考書/Materials	ワシントン大学フォスタービジネススクール管理会計研究会訳『【原著第7版】管理会計のエッセンス』 同文館出版	
受講要件（履修条件）/Prerequisites	受け入れコース・領域：すべてのコース・領域。 あらかじめ履修しておくことが望ましい科目や受講前の準備：簿記の単位を取得済みであること。 また、原価計算論 を履修していることが望ましいが要件ではありません。 早期卒業受け入れ：可 その他の必要な要件：特にありません。	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2999 （E-MAIL）support_ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考（URL）/Remarks（URL）	下記の牧誠財団のHPで、管理会計に関する図書を出版している出版社と文献を検索できます。 <a href="https://melco-foundstion.jp/learn/link-publisher/">https://melco-foundstion.jp/learn/link-publisher/</a> なお、既述のようにゼミは対面（具体的にはリアルタイムオンラインも取り入れたハイフレックス型授業）で実施します。	
学生へのメッセージ/Message for students	管理会計は経営者や管理者を支援するものですから、管理会計がサポートすべき問題の解決が優先されるため経営学等の近接学問の知見を積極的に取り入れて発展してきました。そのような経緯を背景として一冊のテキストが出来上がっており、その内容は簿記の延長線上とはかけ離れたもの（もちろん内容の理解のためには前提として簿記の知識は必要ですが・・・）になっています。したがって原価計算情報などをベースにした計数的な経営管理に興味のある学生向けのゼミで、簿記の延長線上的な内容や税理士試験（公認会計士試験の受験科目ではありませんが・・・）の受験などには関連がないことを付記しておきます。	
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回	授業ガイダンス（対面〔ハイフレックス型授業〕）	F
第2回	研究報告とディスカッションー情報化時代の管理会計 ー（対面〔ハイフレックス型授業〕）	A B
第3回	研究報告とディスカッションー情報化時代の管理会計 ー（対面〔ハイフレックス型授業〕）	A B
第4回	研究報告とディスカッションー情報化時代の管理会計 ー（対面〔ハイフレックス型授業〕）	A B
第5回	研究報告とディスカッションーCVP分析 ー（対面〔ハイフレックス型授業〕）	A B
第6回	研究報告とディスカッションーCVP分析 ー（対面〔ハイフレックス型授業〕）	A B
第7回	研究報告とディスカッションーCVP分析 ー（対面〔ハイフレックス型授業〕）	A B
第8回	研究報告とディスカッションーCVP分析 ー（対面〔ハイフレックス型授業〕）	A B
第9回	研究報告とディスカッションー原価配賦と活動基準原価計算 ー（対面〔ハイフレックス型授業〕）	A B
第10回	研究報告とディスカッションー原価配賦と活動基準原価計算 ー（対面〔ハイフレックス型授業〕）	A B
第11回	研究報告とディスカッションー原価配賦と活動基準原価計算 ー（対面〔ハイフレックス型授業〕）	A B

第12回	研究報告とディスカッションー経営意思決定における原価情報の利用 ー（対面〔ハイフレックス型授業〕）	A B
第13回	研究報告とディスカッションー経営意思決定における原価情報の利用 ー（対面〔ハイフレックス型授業〕）	A B
第14回	研究報告とディスカッションー経営意思決定における原価情報の利用 ー（対面〔ハイフレックス型授業〕）	A B
第15回	研究報告とディスカッションー経営意思決定における原価情報の利用 ー（対面〔ハイフレックス型授業〕）	A B
第16回	研究報告とディスカッションー価格決定、顧客収益性分析、活動基準価 格決定 ー（対面〔ハイフレックス型授業〕）	A B
第17回	研究報告とディスカッションー価格決定、顧客収益性分析、活動基準価 格決定 ー（対面〔ハイフレックス型授業〕）	A B
第18回	研究報告とディスカッションー価格決定、顧客収益性分析、活動基準価 格決定 ー（対面〔ハイフレックス型授業〕）	A B
第19回	研究報告とディスカッションー資本予算とその他の長期的意思決定 ー （対面〔ハイフレックス型授業〕）	A B
第20回	研究報告とディスカッションー資本予算とその他の長期的意思決定 ー （対面〔ハイフレックス型授業〕）	A B
第21回	研究報告とディスカッションー資本予算とその他の長期的意思決定 ー （対面〔ハイフレックス型授業〕）	A B
第22回	研究報告とディスカッションー資本予算とその他の長期的意思決定 ー （対面〔ハイフレックス型授業〕）	A B
第23回	研究報告とディスカッションー資本予算とその他の長期的意思決定 ー （対面〔ハイフレックス型授業〕）	A B
第24回	研究報告とディスカッションー分権化と業績評価 ー（対面〔ハイフレ ックス型授業〕）	A B
第25回	研究報告とディスカッションー分権化と業績評価 ー（対面〔ハイフレ ックス型授業〕）	A B
第26回	研究報告とディスカッションー分権化と業績評価 ー（対面〔ハイフレ ックス型授業〕）	A B
第27回	研究報告とディスカッションー分権化と業績評価 ー（対面〔ハイフレ ックス型授業〕）	A B
第28回	研究報告とディスカッションー予算編成と予算管理 ー（対面〔ハイフ レックス型授業〕）	A B
第29回	研究報告とディスカッションー予算編成と予算管理 ー（対面〔ハイフ レックス型授業〕）	A B
第30回	卒業論文作成に向けて（対面〔ハイフレックス型授業〕）	F

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Oth. 0
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2026/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	4.0/4.0/4.0
時間割コード / Time schedule code	20251510000707	科目番号 / Course code	15100007
科目ナンバリングコード / Numbering code	ECET 38360_398_2		
授業科目名 / Course title	専門ゼミ / Special Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	神菌 健次 / Kamizono Kenji		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	神菌 健次 / Kamizono Kenji		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	神菌 健次 / Kamizono Kenji		
科目分類 / Course Category	演習, 自由専門科目		
対象年次 / Intended year	3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room			
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	3年次以上で経済学部で定める必要単位数を修得した学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	k-kamiz@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	経済学部本館6階611号室		
担当教員TEL/Tel	095-820-6377		
担当教員オフィスアワー/Office hours	質問はメールまたはLACSのメッセージで、いつでも受け付けます。対面やオンラインでの質問も受け付けます。事前にメールまたはLACSのメッセージで、都合の良い日時をお知らせください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	演習題目：証券投資論 課題テーマ：計量ファイナンス入門 内容と方法：毎回のゼミでは、担当ゼミ生がその日に取り扱う内容について、テキストに沿って解説を行い、皆で討論することによって、基礎理論を習得します。また、適宜練習問題に取り組むことによって、基礎理論に対する理解を深めるとともに、応用力を養います。卒論では、ゼミを通じて習得した理論や技法を応用し、現実の株価、金利、為替などのデータを用いて実証研究を行います。		
授業到達目標/Course goals	経済学部HPの「受講の手引き(学部)」にあるカリキュラム・マップ」を見てください。専門ゼミは次のDPを授業到達目標としています。 DP-5：獲得した知識を駆使して新たな価値を創造するとともに、これを発信する能力を身につけている。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業参加度, 授業への取り組み(100%)。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学修の内容/Preparation & Review	毎回の予習復習課題としてテキストの精読を求めます。(各2h)		
キーワード/Keywords	効率性市場仮説, 資産選択の平均・分散アプローチ, 資本資産評価モデル(CAPM), イベント・スタディー分析, 現在価値関係		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書：藤林 宏, 袖山 則宏 ほか『EXCELで学ぶファイナンス 証券投資分析 (第3版)』金融財政事情研究会 2009年		

受講要件 (履修条件) /Prerequisites	受け入れコース・領域：全てのコース・領域 あらかじめ履修しておくことが望ましい科目や受講前の準備：「経済数学入門」, 「経済数学」, 「統計学」が履修済みであることを受講要件とします。また, 「企業ファイナンス」, 「証券投資論」を履修済み, もしくは並行履修していることが望ましいです。 早期卒業受け入れ：可 その他必要な要件：パソコン上でExcelの基本操作ができること。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2999 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks (URL)	対面形式で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	受講希望者に対する課題は以下の通りです。 教科書第1章を参考にしながら, Excelを用いて, 任意に選んだ2銘柄の24か月間にわたる月次株式リターンについて, 平均, 標準偏差, 相関係数を計算し, 併せてリターンのヒストグラムを作成しなさい。株式価格データはYahoo!ファイナンスなどから, 配当金データは株式発行企業のHPなどから入手可能です。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 ~ 第30回	研究報告とディスカッション

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Oth. 0
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2026/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	4.0/4.0/4.0
時間割コード / Time schedule code	20251510000708	科目番号 / Course code	15100007
科目ナンバリングコード / Numbering code	ECET 38360_398_2		
授業科目名 / Course title	専門ゼミ / Special Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	木村 眞実 / KIMURA mami		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	木村 眞実 / KIMURA mami		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	木村 眞実 / KIMURA mami		
科目分類 / Course Category	演習, 自由専門科目		
対象年次 / Intended year	3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room			
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	3年次以上で経済学部で定める必要単位数を修得した学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	mkimura nagasaki-u.ac.jp ( を@に置き換えてください)		
担当教員研究室/Office	本館6階630研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	原則、講義終了後に受け付ける。それ以外は、事前にアポイントを取る。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>演習題目：マネジメントの実践          課題テーマ：実践体験型PBLによるマネジメント実践力、社会人基礎力の妖精          内容与方法：4名程度からなるチームを編成し、各チームが1つのプロジェクトを担当する。プロジェクトを進捗させていく過程において、適切な課題設定や背景理解、課題解決の模索、提案、およびその実施から検証までを主たる活動内容とし、そこで必要な学習を自発的に行う。活動をチーム自らが計画、実行することで、マネジメント実践力やプロジェクト遂行力、デザイン思考力を養うのに加え、前に踏み出す力、考え抜く力、チームで働く力といった社会人基礎力を訓練する。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>経済学部HPの「受講の手引き(学部)」にあるカリキュラム・マップ」を見てください。専門ゼミは次のDPを授業到達目標としています。          DP-5：獲得した知識を駆使して新たな価値を創造するとともに、これを発信する能力を身につけている。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br&gt; Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over          B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br&gt; Activities involving others to think from various perspectives          C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br&gt; Activities to practice for acquiring skills          D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br&gt; Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems          E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br&gt; Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above          F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br&gt; It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	平素の取り組み(60%)、研究発表(40%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	(予習) 次回のゼミ活動内容をふまえての個人学習(2h) (復習) ゼミ活動内容の振り返りと自身の態度や姿勢の振り返り(2h)		
キーワード/Keywords	PBL教育、協同学習、産学連携、マネジメント、イノベーション		
教科書・教材・参考書/Materials	適宜提示する		

受講要件 (履修条件) /Prerequisites	受け入れコース・領域：全てのコース・領域 あらかじめ履修しておくことが望ましい科目や受講前の準備：「プロジェクト・リテラシー」「ビジネス・リサーチ」科目 早期卒業受け入れ：否 その他必要な要件：「プロジェクト演習」科目の同時履修を要件とする。また学研災付帯賠償責任保険（Aコース）の加入を義務付ける。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2999 （E-MAIL）support_ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks (URL)	すべて対面形式で実施
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回～第30回	プロジェクトに対しての調査、計画、実施、発表など

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Oth. 0
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2026/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	4.0/4.0/4.0
時間割コード / Time schedule code	20251510000709	科目番号 / Course code	15100007
科目ナンバリングコード / Numbering code	ECET 38360_398_2		
授業科目名 / Course title	専門ゼミ / Special Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	工藤 健 / Kudo Takeshi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	工藤 健 / Kudo Takeshi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	工藤 健 / Kudo Takeshi		
科目分類 / Course Category	演習, 自由専門科目		
対象年次 / Intended year	3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room			
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	3年次以上で経済学部で定める必要単位数を修得した学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tkudo@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	経済学部 (片淵キャンパス) 本館5階521研究室		
担当教員TEL/Tel	095-820-6369		
担当教員オフィスアワー/Office hours	毎週月曜日16:10 - 18:30 E-mailおよびLACS科目掲示板でも質問を適宜受付。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>演習題目：経済政策          課題テーマ：経済政策（金融政策・財政政策と周辺分野）およびマクロ経済に関する分析          内容と方法：          ・目的：経済政策の効果を理論とデータに基づき分析できるようになること。          ・専門的分析能力の修得：          (1) 専門書または学術論文の輪読を通じ、学術的な政策分析に関する理解を深めます。また、可能な限りERE（経済学検定）を受検してもらいます。          (2) データ分析演習を通じて、情報収集やデータ分析能力を身につけます。          (3) グループ研究に基づきレポートを作成し、学内外で発表してもらいます。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>(1) 基本的なマクロ経済分析やデータ分析の方法を身につけている。          (2) 予習内容に基づいて小グループで議論を行い、考えを共有できる。          (3) 経済分析に基づく研究成果をまとめて論文を執筆し、公表できる。          以上は次の経済学部のディプロマ・ポリシーに対応する。          (DP-5) 獲得した知識を駆使して新たな価値を創造するとともに、これを発信する能力を身につけている。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course ( pick 1 to 3 )	<p>汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br&gt; Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over          B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br&gt; Activities involving others to think from various perspectives          C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br&gt; Activities to practice for acquiring skills          D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br&gt; Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems          E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br&gt; Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above          F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br&gt; It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	<p>個人またはグループ研究（論文内容、報告会プレゼン、貢献度）40%、          論文輪読・データ分析（議論・報告内容、提出物の成果など）60%</p>		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学修の内容/Preparation & Review	・事前学習：テキストや事前に配付された資料を用いて所定の様式に基づく「予習ノート」を作成します。(2時間) ・事後学習：学習の成果や課題、プロジェクトの進行状況をLACSにアップロードしてもらいます。(2時間)
キーワード/Keywords	金融政策、財政政策、マクロ経済分析、マクロ経済統計、データ分析
教科書・教材・参考書/Materials	<研究論文の輪読> 主な資料として、学部中上級レベルのマクロ経済学関連テキストや『経済セミナー』, Journal of Economic Literatureなどの学術雑誌の記事を扱う予定。詳細は授業開始前に指示する。 <データ分析演習> 久保克行(2021)『経営学のための統計学・データ分析』東洋経済新報社 (ISBN: 978-4492503294)
受講要件(履修条件)/Prerequisites	受け入れコース/領域：経済コース、経営コース/国際ビジネス領域、地域デザイン領域、社会イノベーション領域 あらかじめ履修しておかなければならない科目や受講前の準備：マクロ経済学A,B, ミクロ経済学A,B, 統計学 早期卒業受け入れ：可 その他必要な要件：可能な限り専門ゼミの期間中に経済学検定を受検すること。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考(URL)/Remarks (URL)	授業は対面形式で実施します。最初の回に授業計画を説明しますが、状況によって変更する場合があります。
学生へのメッセージ/Message for students	質問は、オフィスアワー(対面またはオンライン)や、電子メールで受け付けます。
実務経験のある教員による授業科目であるか(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
	ガイダンスとイントロダクション
	データ分析演習, グループ研究ミーティング
	図書館ガイダンス(事前資料: 久保(2021)第9章)
	研究論文の輪読と討論
	データ分析演習, グループ研究ミーティング
	データ分析演習, グループ研究ミーティング
	グループ研究テーマ報告
	研究論文の輪読と討論
	データ分析演習, グループ研究ミーティング
	データ分析演習, グループ研究ミーティング
	データ分析演習, グループ研究ミーティング
	研究論文の輪読と討論
	データ分析演習, グループ研究ミーティング
	データ分析演習, グループ研究ミーティング
	グループ研究中間報告
	データ分析演習, グループ研究ミーティング
	グループ研究ミーティング
	グループ研究中間報告
	研究論文の輪読と討論
	グループ研究ミーティング
	グループ研究ミーティング
	グループ研究ミーティング
	グループ研究最終報告
	データ分析演習

	研究論文の輪読と討論
	卒業研究テーマ探索
	卒業研究テーマ探索
	卒業研究テーマ探索
	卒業研究テーマ報告会
	卒業研究テーマ報告会

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Oth. 0
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2026/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	4.0/4.0/4.0
時間割コード / Time schedule code	20251510000710	科目番号 / Course code	15100007
科目ナンバリングコード / Numbering code	ECET 38360_398_2		
授業科目名 / Course title	専門ゼミ / Special Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	式見 拓仙 / Shikimi Takuhisa		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	式見 拓仙 / Shikimi Takuhisa		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	式見 拓仙 / Shikimi Takuhisa		
科目分類 / Course Category	演習, 自由専門科目		
対象年次 / Intended year	3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room			
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	3年次以上で経済学部で定める必要単位数を修得した学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	shikimi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	東南アジア研究所2階214番研究室		
担当教員TEL/Tel	shikimi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員オフィスアワー/Office hours	演習終了後1時間		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>演習題目：統計学          課題テーマ：確率論・統計的推測の基礎を習得することを目的とします。また、それらの習得を通じて、わからないことを一つ一つ克服していく力を身につけます。          内容と方法：統計学の入門・中級レベルのテキストを輪読します。毎回、発表者がテキストの指定範囲を説明し、それをもとに参加者が議論します。また、テキストの練習問題に取り組むこともあります。          なお、ゼミは対面式で実施します。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>経済学部HPの「受講の手引き(学部)」にある「カリキュラム・マップ」を見てください。専門ゼミは次のDPを授業到達目標としています。          DP5：獲得した知識を駆使して新たな価値を創造するとともに、これを発信する能力を身につけている。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br&gt; Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over          B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br&gt; Activities involving others to think from various perspectives          C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br&gt; Activities to practice for acquiring skills          D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br&gt; Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems          E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br&gt; Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above          F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br&gt; It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	十分に発表の準備をしているかどうか、発表の態度、理解の程度、出席率をもとに判定します。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	<p>予習：ゼミ参加者は指定された学習範囲を学習し、理解しておく。さらに不明な点を明確しておく(2h)。          復習：理解の定着を図るために、該当範囲の練習問題を解く(2h)。</p>		
キーワード/Keywords	確率、確率変数、確率分布、期待値、標準偏差、2変数確率分布、標本分布、相関、回帰、推定、検定		

教科書・教材・参考書/Materials	宮川公男『記法統計学（第5版）』有斐閣  この本は「統計学I」「統計学II」「統計学」の講義で利用した教科書と同じですが、時間の都合上または少し高度であるため授業で講義できなかった内容も多い。それらを含めて最初から丁寧に教科書を読み込んでいく予定です。数学の予備知識としては、数列の収束、指数関数、微分、べき級数展開、（広義）積分を必要とします。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	受け入れコース・領域：全てのコース・領域 あらかじめ履修しておかなければならない科目や受講前の準備：「統計学I」「統計学II」「経済数学入門」「経済数学」の単位を取得しておくこと。 早期卒業受け入れ：可
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2999 （E-MAIL）support_ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	対面で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	わからない点があっても、粘り強く考え続けてください。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1-30回	発表とディスカッション なおゼミは全て対面で実施します。

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Oth. 0
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2026/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	4.0/4.0/4.0
時間割コード / Time schedule code	20251510000711	科目番号 / Course code	15100007
科目ナンバリングコード / Numbering code	ECET 38360_398_2		
授業科目名 / Course title	専門ゼミ / Special Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	穴倉 学 / Shishikura Manabu		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	穴倉 学 / Shishikura Manabu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	穴倉 学 / Shishikura Manabu		
科目分類 / Course Category	演習, 自由専門科目		
対象年次 / Intended year	3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room			
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	3年次以上で経済学部で定める必要単位数を修得した学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	shishi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	東南アジア研究所206号		
担当教員TEL/Tel	095(820)6396		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後1時間		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	演習題目：公共経済研究 課題テーマ： 内容与方法：経済学的手法や理論を用いて、現代社会の諸問題の分析し、これら問題の解決に向けた提言を行います。前期は主に基礎的なテキストを用いて必要な知識の習得に努めます。また後期は、複数名でのグループワークを通じて共同で論文を作成する予定です。また長崎県や市と協力して政策課題に取り組むことがあります。		
授業到達目標/Course goals	経済学部HPの「受講の手引き(学部)」にあるカリキュラム・マップ」を見てください。専門ゼミは次のDPを授業到達目標としています。 DP5(価値創造及び発信力)：獲得した知識を駆使して新たな価値を創造するとともに、これを発信する能力を身につけている。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業での質疑応答への貢献、学内外での報告、提出された論文の内容を総合的に判断して評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習：指定されたテキストや研究課題に対して調査分析を行い、結果を資料にまとめること(2H) 。事後：授業中に受けたコメントをもとに報告内容の修正と追加調査を行うこと(2H)		
キーワード/Keywords	政府公共部門、税、社会保障、公共政策、情報通信、メディア		

教科書・教材・参考書/Materials	基礎知識習得のテキストとして以下の文献を候補として考えていますが、参加予定のゼミ生の興味や関心に応じて最終的に決定します。 ・アリエ・L・ヒルマン(2006)『入門財政・公共政策』勁草書房 ・板谷淳一・佐野博之(2014)『コアテキスト公共経済学』新世社 ・ジョセフ・E・スティグリッツ(2003)『公共経済学(第2版)』東洋経済新報社
受講要件(履修条件)/Prerequisites	早期卒業予定学生指導 可
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。  アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考(URL)/Remarks (URL)	授業は対面形式とオンライン形式(オンデマンド)のハイブリッド型で実施します。最初の回に授業計画を説明します。なお授業回によっては変更する場合があります。
学生へのメッセージ/Message for students	政府公共部門が関与する問題(公共財、外部性、公益事業、所得再分配等々)に関心があれば、知識は問いません。知的好奇心が旺盛な人を求めます。
実務経験のある教員による授業科目であるか(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y: 行政機関において情報通信や地方財政などに関する調査研究業務に従事
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	調査研究及び政策実務に従事した経験あり/政府公共部門の必要性や政策の妥当性を評価するための理論的根拠を教授する。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス
第2回～第15回	研究報告・ディスカッション
第16回	ガイダンス
第17回～第28回	研究報告・ディスカッション
第29回～第30回	最終報告

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Oth. 0
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2026/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	4.0/4.0/4.0
時間割コード / Time schedule code	20251510000712	科目番号 / Course code	15100007
科目ナンバリングコード / Numbering code	ECET 38360_398_2		
授業科目名 / Course title	専門ゼミ / Special Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	徐 陽 / Yang Xu		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	徐 陽 / Yang Xu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	徐 陽 / Yang Xu		
科目分類 / Course Category	演習, 自由専門科目		
対象年次 / Intended year	3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room			
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	3, 4年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	jxuyang nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部本館5階 508研究室		
担当教員TEL/Tel	6-373		
担当教員オフィスアワー/Office hours	ゼミの前後の時間を原則とするが、事前にe-mailにより連絡ください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>演習題目：制度会計          内容与方法：企業のステークホルターの利益を調整するシステムとしての企業会計に関する法規制（会社法会計）について、計算と監査と開示の連関的規制を重視する見地から、日本会計基準を学習していく。必要に応じて国際会計基準との違いも説明する。会計学の事例を用いて学習し、諸問題点を見つけ、検討していく。</p> <p>具体的な方法は、教科書の各章について、分担して報告を行う。報告者は担当部分の内容をプレゼンテーションおよび質疑応答を行い、報告者以外の者も、事前に内容を読んで問題意識を持ち、その内容について全員で議論する。ゼミでは、毎回、報告者以外の参加者にも自分の考えや論点を述べることを求める。授業は対面とリアルタイムオンライン等により行います。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>経済学部HPの「受講の手引き（学部）」にあるカリキュラム・マップ」を見てください。          専門ゼミは次のDPを授業到達目標としています。          DP-5：獲得した知識を駆使して新たな価値を創造するとともに、これを発信する能力を身につけている。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br&gt; / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over          B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br&gt; / Activities involving others to think from various perspectives          C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br&gt; / Activities to practice for acquiring skills          D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br&gt; / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems          E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br&gt; / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above          F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br&gt; / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	<p>授業参加度、課題への取り組み、主体的・積極的なゼミへの参加態度、報告やプレゼンテーション、討論への姿勢等を総合的に評価する。具体的にはプレゼンや討論への参加状況（50%）、各期ごとに提出するレポートで評価する（50%）。</p>		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	<p>詳細は授業計画詳細を参照</p>		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	<p>予習：教科書や参考書の次回の学習範囲を予習するとともに、理解できない点を明確にし、授業で積極的に質問できるようにすること。(2h)          復習：ゼミでの内容を整理し理解を深める。授業中で紹介された文献を追加調査し理解を深めること。わからない点は友人や教員に質問し、解決すること。(2h)</p>		
キーワード/Keywords	<p>日本の会計基準、国際財務報告基準（IFRS）</p>		

教科書・教材・参考書/Materials	永野則雄著『ケースでまなぶ財務会計』（最新版）白桃書房 企業会計基準委員会（ASBJ）のホームページを随時参考にすること。なお、IFRSに関する動向に合わせて参考資料を追加する予定である。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	受け入れコース・領域：すべてのコース・領域 早期卒業受け入れ：可 その他必要要件：「簿記」と「財務会計論」の講義修済み学生が望ましい
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2999 （E-MAIL）support_ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	国際会計基準審議会（IASB）： <a href="https://www.ifrs.org/">https://www.ifrs.org/</a> 日本公認会計士協会（JICPA）： <a href="https://jicpa.or.jp/">https://jicpa.or.jp/</a>  授業は対面形式とオンライン形式（リアルタイム）のハイブリット型で実施します。最初の回に授業計画を説明しますが、状況によって変更する場合があります。その場合はLACS等で連絡します。
学生へのメッセージ/Message for students	・面接にあたり、ゼミの志望動機、自己PR等をA4一枚にまとめて、事前にメールにより連絡すること。 ・ゼミの参加には、十分に予習した上で積極的な態度で臨むこと。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	財務会計を学ぶ意義
第2回	会計をめぐる2つのドラマ
第3回	会計の役割と規則
第4回	財務諸表における表示
第5回	財務諸表を読むーやさしい経営分析
第6回	会計の計算原理
第7回	棚卸資産
第8回	有形固定資産
第9回	無形固定資産と繰延資産
第10回	金融資産
第11回	負債
第12回	純資産
第13回	収益・費用・税金
第14回	連結貸借対照表と連結損益計算書
第15回	その他の財務諸表・開示
第16回	決算ー真実な報告と会計戦略

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Oth. 0
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2026/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	4.0/4.0/4.0
時間割コード / Time schedule code	20251510000713	科目番号 / Course code	15100007
科目ナンバリングコード / Numbering code	ECET 38360_398_2		
授業科目名 / Course title	専門ゼミ / Special Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	白水 桂子 / Shirouzu Keiko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	白水 桂子 / Shirouzu Keiko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	白水 桂子 / Shirouzu Keiko		
科目分類 / Course Category	演習, 自由専門科目		
対象年次 / Intended year	3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room			
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	3年次以上で経済学部で定める必要単位数を修得した学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kuwata@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	東南アジア研究所 2階		
担当教員TEL/Tel	連絡はメールを利用してください。		
担当教員オフィスアワー/Office hours	ゼミの時間の前後。またはメールで連絡を取ってください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	演習題目: 社会言語学 課題テーマ: ことばの多様性 内容与方法: 社会言語学で取り扱う内容を概観し、その中で各自が最も興味を引かれるテーマに関して調査、考察してレポートにまとめます。また、プレゼンテーションの練習も行います。自分の研究テーマについての考察内容をわかりやすく伝え、討論することができるようになる。現代社会の中で言葉に関わる現象、問題点を見つけ出し、他の関連領域についても調査して、広い視野での分析ができるようになる。		
授業到達目標/Course goals	経済学部HPの「受講の手引き(学部)」にあるカリキュラム・マップ」を見てください。専門ゼミは次のDPを授業到達目標としています。 DP-5: 獲得した知識を駆使して新たな価値を創造するとともに、これを発信する能力を身につけている。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	レポート40点 + ゼミへの貢献度60点(ルーブリックを用いて評価する) 合計100点のうち、60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	[事前学習] 配付資料や参考文献等に目を通してください。また、プレゼンのための資料作成が必要な時もあります。(2h) [事後学習] ゼミで取り扱ったトピックスについて考察した内容を文章にしてLacsで提出する。(2h)		
キーワード/Keywords	言語の多様性、言語変種、言語差の要因		
教科書・教材・参考書/Materials	開講時に連絡します。また、必要な資料は適宜配布します。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	受け入れコース・領域: 国際ビジネス領域 あらかじめ履修しておくことが望ましい科目や受講前の準備: 言語学に関する本、文献を読む 早期卒業受け入れ: 否 その他必要な要件:		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2999 （E-MAIL）support_ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	授業は対面形式とオンライン形式（オンデマンド）のハイブリッド型で実施します。最初の回に授業計画を説明しますが、状況によって変更する場合があります。
学生へのメッセージ/Message for students	無断欠席は厳禁です。確実に連絡が取れるメールアドレスを教えてください。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	各自の関心がある内容について確認し、個人発表の予定を決める。
第2回	班別の研究テーマを決める
第3回	担当者発表とディスカッション
第4回	担当者発表とディスカッション
第5回	担当者発表とディスカッション
第6回	文献研究・班別研究
第7回	文献研究・班別研究
第8回	文献研究・班別研究
第9回	班別研究報告とディスカッション
第10回	班別研究報告とディスカッション
第11回	班別研究報告とディスカッション
第12回	文献輪読とディスカッション
第13回	文献輪読とディスカッション
第14回	文献輪読とディスカッション
第15回	レポート作成について
第16回	各自のレポートを基にした発表の割当てを決める。 文献輪読とディスカッション
第17回	文献輪読とディスカッション
第18回	文献輪読とディスカッション
第19回	担当者発表とディスカッション
第20回	担当者発表とディスカッション
第21回	担当者発表とディスカッション
第22回	担当者発表とディスカッション
第23回	担当者発表とディスカッション
第24回	卒論テーマについて議論
第25回	担当者発表とディスカッション
第26回	担当者発表とディスカッション
第27回	担当者発表とディスカッション
第28回	担当者発表とディスカッション
第29回	担当者発表とディスカッション
第30回	各ゼミ生の卒論のテーマについての確認

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Oth. 0
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2026/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	4.0/4.0/4.0
時間割コード / Time schedule code	20251510000714	科目番号 / Course code	15100007
科目ナンバリングコード / Numbering code	ECET 38360_398_2		
授業科目名 / Course title	専門ゼミ / Special Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	鈴木 崇文 / SUZUKI Takafumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	鈴木 崇文 / SUZUKI Takafumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	鈴木 崇文 / SUZUKI Takafumi		
科目分類 / Course Category	演習, 自由専門科目		
対象年次 / Intended year	3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room			
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	3年次以上で経済学部で定める必要単位数を修得した学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	takafumi.suzuki@nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @ を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部本館 6階 624 研究室		
担当教員TEL/Tel	Eメール参照		
担当教員オフィスアワー/Office hours	ゼミの前後に遠慮なく質問して頂いて大丈夫です。また、Eメールでの問合せは随時受け付けますし、Eメールで事前に日程調整をして頂ければ別途対面やZoomでの対応も致します。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	演習題目：国際貿易政策 課題テーマ：経済上の諸問題と国際貿易との関係 内容と方法： 国際経済関係のテキストの輪読 (概要報告 + 討論)、 国際経済に関係する時事トピックに関する討論、 班別共同研究 (学外発表)		
授業到達目標/Course goals	経済学部HPの「受講の手引き (学部)」にある「カリキュラム・マップ」を見てください。 専門ゼミは次のDPを授業到達目標としています。 DP-5 : 獲得した知識を駆使して新たな価値を創造するとともに、これを発信する能力を身につけている。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	自らの報告・発表 (質疑・コメントへの対応を含む) [40%]、他の学生の報告・発表に対する質疑・コメント [20%]、共同研究への貢献 [40%] を基にルーブリックにより評価し、合計60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	(予習) テキストの輪読については、事前に読み込んで議論の準備を行う (発表者は発表資料も作成)。共同研究については、各自担当分の研究を進める。(2h) (復習) テキストの輪読については、ゼミでの議論の内容を整理し理解を深める。共同研究については、ゼミでの議論を踏まえ、方向性・内容について再検討する。(2h)		
キーワード/Keywords	GATT、WTO、EPA/FTA、保護貿易、貿易救済		
教科書・教材・参考書/Materials	石川城太・椋木寛・菊池徹著「国際経済学をつかむ【第2版】」(有斐閣 2013年)		

受講要件 (履修条件) /Prerequisites	受け入れコース・領域：全てのコース・領域 あらかじめ履修しておくことが望ましい科目や受講前の準備：特になし 早期卒業受け入れ：否 その他必要な要件：特になし
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2999 （E-MAIL）support_ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks (URL)	専門ゼミは対面で行います。LACSへのアクセス可能なノートPC等を必ず持参すること。
学生へのメッセージ/Message for students	・日本経済が直面する諸課題と国際貿易との関係に関心を有する学生を歓迎します。 ・ゼミ活動を通して、探求心を持って課題に取り組む主体性と自己と異なる見解にも耳を傾けて共同で作業を進めていくことのできる協調性を兼ね備えた人物となることを期待しています。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	鈴木崇文/財務省において国際経済に係る諸機関 (WTO、WCO、OECD(DAC)等) 及び諸問題 (関税及び非関税障壁、貿易救済措置、通関システム、関税技術協力等) を担当、ベルギー (WCO) 及び在スイス日本大使館での在外勤務経験あり。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1-30	「国際経済関係のテキストの輪読 (概要報告 + 討論) + 国際経済に関係する時事トピックに関する討論」と「班別共同研究」を原則として隔週で行う。

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Oth. 0
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2026/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	4.0/4.0/4.0
時間割コード / Time schedule code	20251510000715	科目番号 / Course code	15100007
科目ナンバリングコード / Numbering code	ECET 38360_398_2		
授業科目名 / Course title	専門ゼミ / Special Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	鈴木 斉 / SUZUKI Hitoshi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	鈴木 斉 / SUZUKI Hitoshi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	鈴木 斉 / SUZUKI Hitoshi		
科目分類 / Course Category	演習, 自由専門科目		
対象年次 / Intended year	3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room			
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	3年次以上で経済学部で定める必要単位数を修得した学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	sigh@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	経済学部本館6階631鈴木研究室		
担当教員TEL/Tel	095-820-6372		
担当教員オフィスアワー/Office hours	原則として講義終了後に受け付けています。別の時間帯を希望される場合やEメールで対応可能なものについては sigh@nagasaki-u.ac.jp にてご相談願います。Eメールや電話以外の連絡手段については開講時に連絡します。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>「実践的エコノミスト」の養成に照らして設定する課題・テーマや指導方針に基づき、学生が主体的な学習を行う演習科目であり、1年間を通して一人の教員の指導のもとに履修する必修科目となります。各ゼミは9~20名の少人数で構成されるため、履修希望者が多い場合は教員と履修希望者との面接等を実施し選抜を行います。専門ゼミの単位修得後は原則として同一教員の指導のもとに卒研ゼミを履修することになります。</p> <p>演習題目: コンピュータセキュリティ  課題テーマ: コンピュータネットワークを利用する際に必要となるセキュリティに対する基本的な考え方について学習します。  内容と方法: 演習で扱う内容としては、プレゼンテーションの練習、コンピュータの動作原理の理解、プログラミングの考え方の理解、プログラミング実習、ハードウェア制御の理解と実習、実社会におけるセキュリティの考え方の理解、コンピュータネットワーク上でのセキュリティの考え方の理解についてを、それぞれ2~6回の講義時間を一つのユニットとしてグループワーク形式で討論や成果物の作成を行ってまいります。ユニットにおける講義回数は、それぞれ (3,5,5,6,6,3,2) 回となります。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>以下の内容を記入ください。  経済学部HPの「受講の手引き(学部)」にあるカリキュラム・マップ」を見てください。  専門ゼミは次のDPを授業到達目標としています。  令和3年度以降入学者  DP-5: 獲得した知識を駆使して新たな価値を創造するとともに、これを発信する能力を身につけている。  令和2年度以前入学者  DP-3: 自分の考えについて、わかりやすく伝え、討論することができる。  DP-4: 現代社会の課題に対して、幅広く深い教養、専門領域や隣接領域の知識と高度な応用分析能力を総合して、現実を踏まえた解決と新たな価値の創造を図る能力を身につけている。</p> <p>具体的には、コンピュータの基本的な動作原理やコンピュータネットワークの仕組みについて自分の言葉で説明し、その問題点について指摘や、その改善方法について討論することができるようになることを授業到達目標としています。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		

学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動  / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動  / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動  / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動  / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法  / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される  / It consists only of lectures from teachers
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	講義時間2~6回を1つのユニットとしてグループワークを行ってまいります。ユニットにおける講義回数は、それぞれ (3,5,5,6,6,3,2) 回となります。 それらの課題への取り組み方: 30%、主体的・積極的なゼミへの参加態度: 40%、報告やプレゼンテーション: 30%をもとに100点満点に換算し、60点以上を合格とします。
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	各ユニットの初回講義日に、ユニット内の最終となる講義日に発表を行ってもらう内容と、理解や作業に有用な参考資料、目安となる作業時間等を提示します。成果物作成には講義時間以外にもグループでの作業が必要となります。 それぞれの講義時間内で進捗報告等を行う時間を設けているため、 予習内容としては、グループワークを円滑に進めるための準備 復習内容としては、講義時間内に得られた知見を最終報告に向けての反映 として、1週あたり平均して予習・復習にそれぞれ2時間を想定しています。
キーワード/Keywords	プログラミングの考え方 実社会におけるセキュリティの考え方 コンピュータネットワーク上でのセキュリティの考え方
教科書・教材・参考書/Materials	テキストは演習参加者と相談の上で決定します。演習導入時点でのテキスト候補としては、梅津 信幸「あなたはコンピュータを理解していますか?」ソフトバンク クリエイティブとなります。
受講要件(履修条件)/Prerequisites	専門ゼミを履修するためには、次に掲げる単位数を修得している必要があります。 令和3年度以降入学者 (1) 教養教育科目の修得単位数が22単位以上(外国語科目6単位以上を含む) (2) 専門教育科目の修得単位数が26単位以上 令和2年度以前入学者 (1) 教養教育科目の修得単位数が28単位以上(外国語科目8単位以上を含む) (2) 専門教育科目の修得単位数が20単位以上 受け入れコース: 全てのコース 早期卒業受け入れ: 否
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2974 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考(URL)/Remarks (URL)	授業は教室での対面形式を予定していますが、新型コロナウイルスの感染状況により、オンライン形式に変更される場合があります。 <a href="https://lacs.nagasaki-u.ac.jp/">https://lacs.nagasaki-u.ac.jp/</a>
学生へのメッセージ/Message for students	・コンピュータを扱う技能を習熟している必要はありませんが、使用に抵抗感を持たないこと、通常以上の努力・精進ができることは要求します。 ・休業期間中や課外時間を用いて集中的なサブゼミを行ないます。ゼミ活動を優先できるようにしてください。 質問等はメール、または、経済学部本館6F 631鈴木研究室にて直接問い合わせてください。
実務経験のある教員による授業科目であるか(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
ユニット1	自己紹介とプレゼンテーションの練習

ユニット2	コンピュータの動作原理の理解
ユニット3	プログラミングの考え方の理解
ユニット4	プログラミング実習
ユニット5	ハードウェア制御の理解と実習
ユニット6	実社会におけるセキュリティの考え方の理解
ユニット7	コンピュータネットワーク上でのセキュリティの考え方の理解

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Oth. 0
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2026/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	4.0/4.0/4.0
時間割コード / Time schedule code	20251510000716	科目番号 / Course code	15100007
科目ナンバリングコード / Numbering code	ECET 38360_398_2		
授業科目名 / Course title	専門ゼミ / Special Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	高井 計吾		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	高井 計吾		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	高井 計吾		
科目分類 / Course Category	演習, 自由専門科目		
対象年次 / Intended year	3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	3年次以上で経済学部で定める必要単位数を修得した学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kegotak@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	経済学部本館525		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	演習終了後、またはメールでアポイントメントを取った日時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>演習題目：マネジメントの実践          課題テーマ：体験型PBLによるマネジメント実践力の養成          内容与方法：本ゼミの活動はクライアント企業と共同で行われる。4名程度からなるチームを編成し、各チームにプロジェクトが割り当てられる。プロジェクトを進捗させていく過程において、課題設定や背景理解、課題解決策の模索、提案、およびその実施から検証までを主たる活動内容とする。参加者はゼミ活動を通じて、自主的に問いを立て、解決方法を模索し、仮説を立てて検証することが求められる。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>経済学部 HP 「受講手引き(学部)」にある「カリキュラム・マップ」を見てください。本講義は、次のDPを授業到達目標としています。          DP5: 獲得した知識を駆使して新たな価値を創造するとともに、これを発信する能力を身につけている。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br&gt; Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over          B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br&gt; Activities involving others to think from various perspectives          C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br&gt; Activities to practice for acquiring skills          D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br&gt; Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems          E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br&gt; Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above          F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br&gt; It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	平素の取り組み(60%)、中間報告・最終成果報告(40%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	<p>予習：次回ゼミ内容の確認、事前調査(2h)          復習：ゼミ活動内容の振り返り(2h)</p>		
キーワード/Keywords	社会人基礎力、経営戦略、プロジェクトマネジメント、デザイン思考		
教科書・教材・参考書/Materials	必要に応じて紹介する		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	<p>受け入れコース・領域：全てのコース・領域          あらかじめ履修しておくことが望ましい科目：「プロジェクト・リテラシー」「ビジネス・リサーチ」          早期卒業受け入れ：否          その他必要な要件：「プロジェクト演習」科目の同時履修を要件とする。学研災付帯賠償責任保険(Aコース)の加入を義務付ける。</p>		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2999 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	対面で実施する
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか （Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回～第30回	プロジェクトの計画、実施、発表など

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Oth. 0
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2026/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	4.0/4.0/4.0
時間割コード / Time schedule code	20251510000732	科目番号 / Course code	15100007
科目ナンバリングコード / Numbering code	ECET 38360_398_2		
授業科目名 / Course title	専門ゼミ / Special Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	趙 文静 / ZHAO WENJING		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	趙 文静 / ZHAO WENJING		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	趙 文静 / ZHAO WENJING		
科目分類 / Course Category	演習, 自由専門科目		
対象年次 / Intended year	3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room			
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	3年次以上で経済学部で定める必要単位数を修得した学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	zwjshmhxs@yahoo.co.jp		
担当教員研究室/Office	経済学部本館5階 504研究室		
担当教員TEL/Tel	zwjshmhxs@yahoo.co.jp		
担当教員オフィスアワー/Office hours	開講時に連絡する。		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	<p>演習題目：民法問題の研究  課題テーマ：私たちの日常生活と密接に関わっている民法は、日常生活にどのように反映されているのか。また、これらの問題が発生する際に、民法の債権法・物権法・家族法の知識をどのように活用してこれらの問題を解決するのか。このゼミを通じて、私たちの生活と民法の関係を理解させる。また、特定の事情においては、民法の債権法・物権法・家族法が個別に適用されるものではなく、同時に適用される必要があることも明らかにする。</p> <p>内容と方法：判例評釈。興味のある判例を選べるように判例リストを用意したうえで、判例に関する文献の検索方法を指導する。学生たちは関連文献を読んだうえで判例報告を行う、議論する。また、これらの判例評釈をすることで、卒業論文で取り上げるテーマを考える。</p>		
授業到達目標 / Course goals	<p>経済学部HPの「受講の手引き(学部)」にあるカリキュラム・マップ」を見てください。  専門ゼミは次のDPを授業到達目標としています。  DP-5：獲得した知識を駆使して新たな価値を創造するとともに、これを発信する能力を身につけている。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業参加度(20%)、判例報告(50%)、他の学生の報告に関する議論(30%)の総合評価とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学修の内容 / Preparation & Review	(予習)教科書および判例に関する判旨に目を通す。(2h) (復習)ゼミでの内容を整理し理解を深めます。(2h)		
キーワード / Keywords	民法、債権法、物権法、家族法		

教科書・教材・参考書/Materials	例として挙げたもの。参考書はゼミ時に決定する予定。 道垣内弘人『民法入門 第3版』日本経済新聞出版社 潮見佳男・道垣内弘人編『民法判例百選 総則・物権 第9版』有斐閣 窪田充見・森田宏樹編『民法判例百選 債権 第9版』有斐閣
受講要件(履修条件)/Prerequisites	受け入れコース・領域：全てのコース 早期卒業受け入れ：可 その他必要な要件：なし
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2999 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp
備考(URL)/Remarks (URL)	対面で実施する。
学生へのメッセージ/Message for students	民法に興味のある学生のみならず、一緒に民法の判例を議論し、民法の魅力を感じましょう!
実務経験のある教員による授業科目であるか(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ゼミと参考文献文献の検索方法のご紹介。
第2回~第30回	判例報告とディスカッション

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Oth. 0
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2026/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	4.0/4.0/4.0
時間割コード / Time schedule code	20251510000717	科目番号 / Course code	15100007
科目ナンバリングコード / Numbering code	ECET 38360_398_2		
授業科目名 / Course title	専門ゼミ / Special Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	津留崎 和義 / Turusaki Kazuyoshi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	津留崎 和義 / Turusaki Kazuyoshi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	津留崎 和義 / Turusaki Kazuyoshi		
科目分類 / Course Category	演習, 自由専門科目		
対象年次 / Intended year	3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	3年次以上で経済学部で定める必要単位数を修得した学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	turusaki nagasaki-u.ac.jp ( を@に置き換えてください)		
担当教員研究室/Office	本館6階601研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	原則、講義終了後に受け付ける。それ以外は、事前にアポイントを取る。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>演習題目：マネジメントの実践          課題テーマ：実践体験型PBLによるマネジメント実践力、社会人基礎力の妖精          内容与方法：4名程度からなるチームを編成し、各チームが1つのプロジェクトを担当する。プロジェクトを進捗させていく過程において、適切な課題設定や背景理解、課題解決の模索、提案、およびその実施から検証までを主たる活動内容とし、そこで必要な学習を自発的に行う。活動をチーム自らが計画、実行することで、マネジメント実践力やプロジェクト遂行力、デザイン思考力を養うのに加え、前に踏み出す力、考え抜く力、チームで働く力といった社会人基礎力を訓練する。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>経済学部HPの「受講の手引き(学部)」にあるカリキュラム・マップ」を見てください。専門ゼミは次のDPを授業到達目標としています。          DP-5：獲得した知識を駆使して新たな価値を創造するとともに、これを発信する能力を身につけている。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br&gt; Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over          B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br&gt; Activities involving others to think from various perspectives          C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br&gt; Activities to practice for acquiring skills          D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br&gt; Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems          E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br&gt; Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above          F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br&gt; It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	平素の取り組み(60%)、研究発表(40%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	(予習) 次回のゼミ活動内容をふまえての個人学習(2h) (復習) ゼミ活動内容の振り返りと自身の態度や姿勢の振り返り(2h)		
キーワード/Keywords	PBL教育、協同学習、産学連携、マネジメント、イノベーション		
教科書・教材・参考書/Materials	適宜提示する		

受講要件 (履修条件) /Prerequisites	受け入れコース・領域：全てのコース・領域 あらかじめ履修しておくことが望ましい科目や受講前の準備：「プロジェクト・リテラシー」「ビジネス・リサーチ」科目 早期卒業受け入れ：否 その他必要な要件：「プロジェクト演習」科目の同時履修を要件とする。また学研災付帯賠償責任保険(Aコース)の加入を義務付ける。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2999 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks (URL)	すべて対面形式で実施
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回～第30回	プロジェクトに対しての調査、計画、実施、発表など

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Oth. 0
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2026/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	4.0/4.0/4.0
時間割コード / Time schedule code	20251510000733	科目番号 / Course code	15100007
科目ナンバリングコード / Numbering code	ECET 38360_398_2		
授業科目名 / Course title	専門ゼミ / Special Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	杜 依濠 / DU YIMENG		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	杜 依濠 / DU YIMENG		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	杜 依濠 / DU YIMENG		
科目分類 / Course Category	演習, 自由専門科目		
対象年次 / Intended year	3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room			
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	3年次以上で経済学部で定める必要単位数を修得した学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	sissitoh@gmail.com		
担当教員研究室/Office	経済学部本館5階 523研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前連絡があれば適宜対応します (sissitoh@gmail.com)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>演習題目：環境経済学演習          課題テーマ：持続可能な経済発展と環境問題の課題          内容と方法：本演習では、環境と開発の関係を深く理解し、経済発展に伴う環境問題とその解決に向けた政策評価方法を学びます。経済成長による環境破壊の影響を経済的な視点で評価し、持続可能な開発を実現するための政策手段を検討します。受講生は、環境経済学や計量経済学の理論・手法を学び、これらを用いて「災害」「汚染」「廃棄物」「気候変動」などの関心のある環境問題について議論を行います。</p> <p>また、環境経済に関連するデータを用いた統計手法の応用や、政策効果の検証手法も学びます。特定の環境問題に対する仮説を立て、研究目的を明確にし、アンケート調査の作成や分析モデルの構築を通じて、思考力や分析力、調査結果を正確に伝える力の向上を目指します。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>経済学部HPの「受講の手引き(学部)」にあるカリキュラム・マップ」を見てください。          専門ゼミは次のDPを授業到達目標としています。          DP-5：獲得した知識を駆使して新たな価値を創造するとともに、これを発信する能力を身につけている。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br&gt; / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over          B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br&gt; / Activities involving others to think from various perspectives          C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br&gt; / Activities to practice for acquiring skills          D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br&gt; / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems          E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br&gt; / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above          F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br&gt; / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	<p>課題への取り組み方 (30%)、主体的・積極的なゼミへの参加態度 (20%)、報告やプレゼンテーション (20%)、作成したレポート(30%)等をもとに総合的に判断し評価を行います。</p>		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	<p>詳細は授業計画詳細を参照</p>		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	<p>(予習) テキストの輪読については、事前に読み込んで報告と議論の準備を行う(報告者は報告資料も作成)。データ分析の演習については、事前にR言語を各自で勉強してもらう(プログラムの作成にはChatGPT等の生成AIを利用することが可能)。(2h)          (復習) ゼミで議論した内容を整理し理解を深めます。(1h)</p>		
キーワード/Keywords	<p>環境経済、環境政策、マイクロデータ分析</p>		

教科書・教材・参考書/Materials	教科書は受講者と相談して決めます。 参考書：栗山浩一、馬奈木俊介『環境経済学をつかむ』 山本勲『実証分析のための計量経済学』 星野匡郎、田中久稔、北川梨津『Rによる実証分析：回帰分析から因果分析へ』
受講要件（履修条件）/Prerequisites	受け入れコース：全てのコース あらかじめ履修しておかなければならない科目や受講前の準備：ミクロ経済学、計量経済学に関連する講義を多く履修しているほど望ましい。必要に応じて追加で受けてもらう予定です。 早期卒業受け入れ：否 その他必要な要件：特になし
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2999 （E-MAIL）support_ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	原則対面形式で実施しますが、状況によって変更する場合があります。
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか （Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回（日時）/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回～第15回	テキスト、文献の内容報告とディスカッション
第16回～第30回	Rを使用したデータ分析演習、レポートの作成

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Oth. 0
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2026/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	4.0/4.0/4.0
時間割コード / Time schedule code	20251510000718	科目番号 / Course code	15100007
科目ナンバリングコード / Numbering code	ECET 38360_398_2		
授業科目名 / Course title	専門ゼミ / Special Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	成田 真樹子 / Narita Makiko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	成田 真樹子 / Narita Makiko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	成田 真樹子 / Narita Makiko		
科目分類 / Course Category	演習, 自由専門科目		
対象年次 / Intended year	3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room			
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	3年次以上で経済学部で定める必要単位数を修得した学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	makki@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	経済学部本館5階 511研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメールで問い合わせること。 makki@nagasaki-u.ac.jp		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>演習題目：世界経済論          課題テーマ：グローバル・エコノミーにおける諸問題：ヨーロッパ経済を中心に          内容と方法：本ゼミでは、世界経済におけるさまざまな問題を議論し、理解を深めることを目的としています。まず、テキストおよび論文の輪読を行います。毎回2~3名のグループで発表を担当してもらい、その内容に基づいて議論をします。その後のゼミ活動についてはゼミ生と相談の上で決定したいと思います。これまでに、輪読の他にディベートやグループでの調査・研究を行いました。</p> <p>ゼミのテーマとしては主にヨーロッパに焦点を当てますが、卒論のテーマはヨーロッパに限らず、各人の興味のある分野で設定して構いません。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>経済学部HPの「受講の手引き(学部)」にあるカリキュラム・マップを見てください          専門ゼミは次のDPを授業到達目標としています。          (DP-5) 獲得した知識を駆使して新たな価値を創造するとともに、これを発信する能力を身につけている。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br&gt; / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over          B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br&gt; / Activities involving others to think from various perspectives          C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br&gt; / Activities to practice for acquiring skills          D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br&gt; / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems          E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br&gt; / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above          F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br&gt; / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	<p>課題への取り組み方 (30%), 主体的・積極的なゼミへの参加態度 (50%), 報告やプレゼンテーション (20%)          課題への取り組み方、ゼミの参加態度については、ルーブリックを使用し総合的に判断する。          ルーブリックの詳細はLACSに載せてある。</p>		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	(予習) テキストの次回の学習範囲を予習する。(2h) (復習) ゼミ中に指示する。(2h)		
キーワード/Keywords	欧州連合 (EU), EPA, 移民・難民, EU拡大, Brexit, ポピュリズム, 単一市場, EU統合の深化, ユーロ, ユーロ危機, CAP, 環境政策, 地域格差		

教科書・教材・参考書/Materials	参加者と相談の上で決定したいと思います。最初はヨーロッパ経済の基本的知識についてのテキストを使用する予定です。 田中他『現代ヨーロッパ経済 第6版』（有斐閣アルマ）
受講要件（履修条件）/Prerequisites	受け入れコース：全てのコース・領域 あらかじめ履修しておかなければならない科目や受講前の準備：国際関係概論（GSR概論）および世界経済論を受講しているのが望ましい（単位の有無は問わない）。 早期卒業受け入れ：否（卒研ゼミ不開講のため）
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2999 （E-MAIL）support_ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	ゼミは対面で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゼミは学生が主役であると考えています。そのため、ゼミの参加・運営を学生が自主的・積極的に行うことを期待しています。</li> <li>・「世界経済論のゼミ」という性格上、外国(特にヨーロッパ)に関心のある学生を歓迎します。</li> <li>・質問があれば遠慮なく問い合わせして下さい。応募の前にゼミについて担当教員から説明を受けることを勧めます。</li> </ul>
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1～15回	テキストの輪読
16～30回	ゼミ生で決定した活動（ディベート、グループワークなど）

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Oth. 0
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2026/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	4.0/4.0/4.0
時間割コード / Time schedule code	20251510000719	科目番号 / Course code	15100007
科目ナンバリングコード / Numbering code	ECET 38360_398_2		
授業科目名 / Course title	専門ゼミ / Special Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	西村 宣彦 / Nobuhiko Nishimura		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	西村 宣彦 / Nobuhiko Nishimura		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	西村 宣彦 / Nobuhiko Nishimura		
科目分類 / Course Category	演習, 自由専門科目		
対象年次 / Intended year	3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room			
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	3年次以上で経済学部で定める必要単位数を修得した学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nishimra@nagsaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	経済学部本館6階605番研究室		
担当教員TEL/Tel	095-828-6382 (経済) 382		
担当教員オフィスアワー/Office hours	上述したメールアドレスにメールで連絡ください。質問については極力回答します。また面会希望の場合、候補を挙げてもらえれば日時を調整して対応します		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	演習題目: イノベーション実践研究 課題テーマ: デザイン思考に基づくイノベーション・マネージメント 内容と方法: 長崎市内の質屋、諫早高校をクライアントとして、それぞれの経営課題の発見・解決を支援することで、イノベーションを生み、事業に育てるための実践的な知識および批判的思考力・創造的思考力・論理的思考力・協働力を獲得する。		
授業到達目標/Course goals	経済学部HPの「受講の手引き(学部)」にあるカリキュラム・マップ」を見てください。 専門ゼミは次のDPを授業到達目標としています。 DP-5: 獲得した知識を駆使して新たな価値を創造するとともに、これを発信する能力を身につけている。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	ゼミへの参加態度(100点)をルーブリックを用いて評価する。60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	実際の社会課題を取り扱うことから、その課題にかかわる専門知識の獲得を課題として与えます。		
キーワード/Keywords	イノベーション、起業、社会課題、ファシリテーション、ワークショップ、グラフィックレコーディング、システム思考、マーケティング、経営情報分析、フィールドワーク		
教科書・教材・参考書/Materials	クライアントの課題に応じて設定します。		

受講要件 (履修条件) / Prerequisites	受け入れコース・領域：すべてのコース・領域 あらかじめ履修しておくことが望ましい科目や受講前の準備：「プロジェクト・リテラシー」、「ビジネス・リサーチ」 早期卒業受け入れ：否 その他必要な要件：「プロジェクト演習」科目の同時履修を必須とする。また、学研災付帯賠償責任保険 (Aコース) の加入を義務づける。	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2999 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考 (URL) / Remarks (URL)	本講義は対面で実施します。	
学生へのメッセージ/Message for students	ゼミ生4, 5名の2チームで活動します。毎回各チーム1名が順次ファシリテーターとして、ゼミ並びにプロジェクト演習のその週のゴールおよび活動プロセスを事前に設計し、教員のレビューを受けたうえで活動します。身につけてもらいたいルーブリックを示しますので、その能力がどれくらいついたのか、さらに向上させるためにはどういうことに気を付けたらよいかを毎週振り返ってもらいます。	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	三菱重工業株式会社において、電力会社向けのサービス事業開発・商品化に従事。	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回	イントロダクション、チーム構成、1年間で獲得したい能力の獲得計画の立案：対面で実施	A
第2回	ファシリテーション・グループワークの実施方法：対面で実施	B C D
第3～第10回	課題発見のためのフィールドワーク、文献調査：対面で実施	A B C D
第11回～第20回	発見した課題の解決策の探査、解決策の設計：対面で実施	A B C D
第21回～第29回	解決策の試行 (プロトタイピング) と解決策の効果の計測、計測した結果からの改善策の検討と設計：対面で実施	A B C D
第30回	関係者向け最終プレゼンテーション：対面で実施	A

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Oth. 0
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2026/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	4.0/4.0/4.0
時間割コード / Time schedule code	20251510000720	科目番号 / Course code	15100007
科目ナンバリングコード / Numbering code	ECET 38360_398_2		
授業科目名 / Course title	専門ゼミ / Special Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	林 徹 / Hayashi Toru		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	林 徹 / Hayashi Toru		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	林 徹 / Hayashi Toru		
科目分類 / Course Category	演習, 自由専門科目		
対象年次 / Intended year	3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room			
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	3年次以上で経済学部で定める必要単位数を修得した学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	thaya@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	経済学部本館6階627研究室		
担当教員TEL/Tel	095-820-6368		
担当教員オフィスアワー/Office hours	「開講時に連絡する」		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>演習題目：経営学          課題テーマ：企業経営の基礎          内容と方法：          (内容) 古典, 名著, 事例研究。学生懸賞論文, 独立開業/事業承継, 外国留学, 大学院進学, などに対する助言。          (方法) 専門ゼミ・卒研ゼミ合同で行う。各自の研究報告と討議。事業計画に対する助言。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>DP5(価値創造及び発信力)：獲得した知識を駆使して新たな価値を創造するとともに、これを発信する能力を身につけている。このために、卒業論文に向けて各自のテーマを専門領域の通説に対する批判を含めて、自由に探究し、合同ゼミでその成果を報告し、質疑応答を経て、さらに探究を重ねていく。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br&gt; Activities to check the degree of comprehension of the contents for the lesson or to think over          B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br&gt; Activities involving others to think from various perspectives          C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br&gt; Activities to practice for acquiring skills          D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br&gt; Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems          E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br&gt; Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above          F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br&gt; It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	<p>いずれも60点以上を合格とする。          (専門ゼミ) 卒業論文の予備論文として位置づけられるべき学術論文の作成・報告(70%), 合同ゼミにおける報告・討議等の活動に関して具体的かつ詳細に記録されている各人のゼミノート(30%)。          (卒研ゼミ) 卒業論文の形式・内容(70%), 各人のゼミノート(30%)。</p>		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学修の内容/Preparation & Review	<p>予習・復習：以下の内容に関連して、各回、予習・復習にそれぞれ2時間以上を割くこと。          報告レジュメ(研究成果)を事前にLACS掲示板へアップする。          報告後は、討議の結果を必要に応じて、次の報告レジュメにフィードバックを反映させる。          欠席者は、事後に掲示板へ書き込むことにより、毎回、参加しなければならない。</p>		
キーワード/Keywords	学術研究, 論理的な記述, レトリック, プレゼンテーション, 質疑応答の作法		
教科書・教材・参考書/Materials	なし		

受講要件（履修条件）/Prerequisites	受け入れコース：全てのコース・領域 2025年5月23-25日，片淵キャンパスで開催予定，経営学学会全国大会（実行委員長，林徹），準備・当日・片付けのお手伝い（報酬有）をお願いします。 担当教員の著作（学術書・論文）にふれてください。 早期卒業受け入れ：否 その他必要な要件：社会人としての基本的な礼儀作法（年齢学年性別立場の関係なく互いに～さんと呼称，遅刻・欠席するときは事前/事後にゼミ幹事と教員へ連絡，扉の開閉・エレベータの乗降，その他，マナーに関する基礎知識を，できるだけ在学中にマスターしてください）
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先（TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2999（E-MAIL）support_ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	原則として対面。 OB・OGの卒業論文論題は『長崎大学経済学部卒業論文論題一覧』を参照。 研究所所属の卒業論文（ゼミノート付録）を627研究室で保管（閲覧するときは要予約）。 研究所所属の入選作（学部学生懸賞論文，学外の懸賞論文）も627研究室で保管。 主指導の論文（学部・修士・博士）タイトル一覧PDFファイルを請求に応じて提供。 1993-2023：卒論@平均約13編/年；2008-2023：修論計40編・博論計10編。
学生へのメッセージ/Message for students	企業経営に関心があればベストです。 具体的な人物や人間関係など，広義の経営に関心があれば，研究の手助けができると思います。 応募者に対する面接は，個別相談済みのばあい，割愛します。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	林徹/横浜国立大学経営学部第二部経営学科夜間5年課程（所得税法上の勤労学生：1983-1988）に在籍中，老舗割箸小売商，有限会社遠州屋商店（横浜市中区長者町）において，横浜・川崎・藤沢・鎌倉などに位置する割烹・懐石・中華・その他飲食店・弁当加工工場などの取引（御用聞き・配達・納品・請求書手交・各種クレーム対応・約束手形と小切手の取扱を含む集金・営業と挨拶まわり），視覚障がいをおもちの内職さんとの取引（割箸袋への割箸の挿入），その他の経験/商慣行を含む小売商における取引実務の全般，トラブルに対する実践的な対処の紹介。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
各回	研究報告と質疑応答（合同ゼミによる）

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Oth. 0
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2026/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	4.0/4.0/4.0
時間割コード / Time schedule code	20251510000721	科目番号 / Course code	15100007
科目ナンバリングコード / Numbering code	ECET 38360_398_2		
授業科目名 / Course title	専門ゼミ / Special Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	原 由紀恵 / Hara Yukie		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	原 由紀恵 / Hara Yukie		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	原 由紀恵 / Hara Yukie		
科目分類 / Course Category	演習, 自由専門科目		
対象年次 / Intended year	3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room			
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	3年次以上で経済学部で定める必要単位数を修得した学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	harayukie@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	Room 509 in Main Building, Katafuchi		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	After each class. Also by appointment (Email me).		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>演習題目: Linguistics          課題テーマ: Language and Interface between Language/Linguistics and Economics &amp; Business          内容と方法:          Linguistics is a scientific study of language, which makes us uniquely human. Because language is our daily tool that we all share, leaning linguistics help us understand ourselves (How language works? What are shared systems across human languages like? Does language influence us and our thoughts?).</p> <p>In this course, you are introduced to linguistics [Spring semester], then you find your own questions related to Economics &amp; Business, which can be addressed by using your knowledge of linguistics [Fall semester]. All will be done in English.</p> <p>[Spring semester]          Students read book chapters from a linguistics textbook published in U.S.; take turn to give a presentation as well as lead a discussion on each chapter; discuss &amp; understand the topic well; bring relevant news article/information on a given topic to think about questions related to language, Business, and Economics.</p> <p>[Fall semester]          Based on your learnings in Spring semester, students are likely to form groups (or go by individuals) and work on a research project. That is, students research a topic of their interests, by collecting previous research articles, finding current trends in Linguistics, Business, and Economics, pointing out related current issues found on newspapers or other materials, and give a presentation to report their findings. Students all develop discussions and give feedback to peers.</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>After having completed this course, students will be able to:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Understand the basics of linguistics</li> <li>• Find topics / questions on the interface between Language/Linguistics and Economics &amp; Business</li> <li>• Collect and organize information to develop their thoughts and critically exchange opinions</li> <li>• (Academically) use English with increased experience, confidence, and fluency</li> </ul> <p>Above goals are linked to the Faculty-of-Economics DP goal as follows:          DP5 獲得した知識を駆使して新たな価値を創造するとともに,これを発信する能力を身につけている</p>		

知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents for the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Participation (Discussion Comments, Overall Activities) 40%</li> <li>• Presentation &amp; Discussion Leader, Project Reports 60%</li> </ul> (Details will be announced in class) Your contributions to weekly classes are crucial in your final grade. Remember that your participation does not mean just showing up but working actively in class. If you are late, or leave earlier, more than 20 minutes, you will be considered absent. Three tardies or leaving-early are considered equivalent to one absence. If you miss more than a third of classes, you will fail.
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	Be sure to complete your reading and preparations for your {presentation/ discussion/ research /assignment etc.} before each class time and be ready to fully utilize chances of class discussions and learnings (2h). After each class, review and master the new concepts and continue developing your thoughts and research, which will be helpful for your projects, thesis, as well as for your future career (2h).
キーワード/Keywords	Linguistics, Language, Interface between Language/Linguistics and Economics & Business
教科書・教材・参考書/Materials	Textbooks are currently in careful consideration and to be announced at the 1st session. (Having said so, currently considered books include: Dechaine, R. M., Burton, S., & Vatikiotis-Bateson, E. (2012). Linguistics for Dummies. John Wiley & Sons. This is tentative so please do NOT purchase the book yet).
受講要件(履修条件)/Prerequisites	早期卒業受け入れ: 否 その他必要な要件 ・(ゼミ配属後) 本ゼミ生は、経済学部留学生チューターに登録すること。 ・多読精読、発表、ディスカッション、リサーチ、卒論執筆等、英語で全てやりおせる覚悟と責任があること。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。  アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp
備考(URL)/Remarks (URL)	(This class will be conducted physically, with a possibility of being conducted through a live online platform depending on the Covid situation, etc.)
学生へのメッセージ/Message for students	前半は言語学(言語を対象とした科学)の基礎を英語「で」学び、後半は言語学の知識を、各自が「経済・経営」に見つける問や課題にどう活かせるか考え取り組みます。詳しくは上記シラバスをしっかりと読んでください。全て英語で行い、情報を目的をもって読み込み・調査・まとめ、自分の意見を持ち、発表・ディスカッションでの発信につなげます。受講者の積極的な発言を求めます。一緒に頑張りましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents

1	Orientation and Introduction to Seminar: Linguistics
2 ~ 30	As described above in the section of 'Course overview'

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Oth. 0
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2026/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	4.0/4.0/4.0
時間割コード / Time schedule code	20251510000722	科目番号 / Course code	15100007
科目ナンバリングコード / Numbering code	ECET 38360_398_2		
授業科目名 / Course title	専門ゼミ / Special Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	藤田 泰昌 / Taisuke Fujita		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	藤田 泰昌 / Taisuke Fujita		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	藤田 泰昌 / Taisuke Fujita		
科目分類 / Course Category	演習, 自由専門科目		
対象年次 / Intended year	3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room			
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	3, 4		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	fujitاتف@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	経済学部本館6階		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	開講時に連絡する		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>演習題目：国際関係論          課題テーマ：国際関係を社会科学の観点から考察する          内容与方法：社会の現状について疑問を持つ、学術文献（日英）をきちんと理解する、他者の考えの問題点や改善案を提示する、有意義な問いを立てる、論理的に議論を組み立てる、仲間と協力して調査等を進める、明解な発表や論文執筆を行う、仲間やチームに貢献する。以上の能力を一定程度以上の水準で身に付けることを目標とします。そのため、文献を踏まえた議論、グループ・ワーク、研究発表、他大学との合同ゼミ（宿舎）、論文執筆などを行います。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>経済学部 HP の「受講の手引き（学部）」にある「カリキュラム・マップ」を見てください。専門ゼミは次の DP を授業到達目標としています。          DP-5：獲得した知識を駆使して新たな価値を創造するとともに、これを発信する能力を身につけている。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course ( pick 1 to 3 )	<p>汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br&gt; Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over          B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br&gt; Activities involving others to think from various perspectives          C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br&gt; Activities to practice for acquiring skills          D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br&gt; Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems          E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br&gt; Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above          F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br&gt; It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	ルーブリックに沿って判断します。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	<p>【予習】指定された文献の読み込み、グループ・ワークに向けた準備、研究発表に向けた準備など (5h)          【復習】ゼミでの議論を振り返る、研究発表に向けた修正点について考察する (1h)</p>		
キーワード/Keywords	社会科学、国際関係、グループワーク、研究発表		
教科書・教材・参考書/Materials	<p>ゼミ生と相談のうえで決定します。例として、以下を挙げておきます。          ・ベン・アンセル『政治はなぜ失敗するのか』          ・吉田徹『くじ引き民主主義』          ・久米郁男『原因を推論する』</p>		

受講要件 (履修条件) /Prerequisites	本演習に応募する前に、必ず、担当教員にコンタクトを取り、演習内容を把握していること。 受け入れコース：全てのコース あらかじめ履修しておかなければならない科目や受講前の準備：「国際関係論 および 」の授業を履修済みであること、あるいは専門ゼミ履修年度に履修すること
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2999 (E-MAIL) support ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks (URL)	原則、対面方式で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	ゼミに向けての準備やゼミの時間帯での議論など、各ゼミ生が時間と労力をかけることが前提です。きちんと勉強して卒業したい、という方々をお待ちしています。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1-15	文献読解、グループワーク、研究発表、論文執筆など

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Oth. 0
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2026/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	4.0/4.0/4.0
時間割コード / Time schedule code	20251510000723	科目番号 / Course code	15100007
科目ナンバリングコード / Numbering code	ECET 38360_398_2		
授業科目名 / Course title	専門ゼミ / Special Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	辺見 英貴 / hemmi hidetaka		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	辺見 英貴 / hemmi hidetaka		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	辺見 英貴 / hemmi hidetaka		
科目分類 / Course Category	演習, 自由専門科目		
対象年次 / Intended year	3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room			
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	3年次以上で経済学部で定める必要単位数を修得した学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hidetaka.hemmi(at)nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	経済学部本館6階608研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	原則、講義終了後に受けつける。それ以外は事前にアポイントメントを取ること。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>演習題目：マネジメントの実践  課題テーマ：問題解決型のプロジェクトによる組織や地域の問題を解決するビジネスパーソンの涵養  内容と方法：本研究室では、社会課題を解決する優秀なビジネスパーソンになることを目的に、産学連携プロジェクトを通して組織で生じる問題を解決する能力を養うことを目指す研究室である。具体的には、少人数のチームを編成し、企業や地域へのフィールドワークやグループワークを行いながら、企業や地域が抱える課題を発見・解決していく。本演習を通して、企業や地域が抱える問題を解決するために、学生自らが問いを立て、仮説を構築し、問題解決のアイデアを創出し実行するプロセスを学習していく。この学習過程では、経営学の知見の応用のみならず、自分の意見を伝える力、チームで協力する力が必要である。加えて、本研究室では、企画やプロジェクトに対する「意味づけ」を重要視する。意味づけは行為を終えた後に反省することでつくられる。例えば、地域の人々や顧客に向けた取り組みの結果、彼らにとってどんな意味があったといえるのかを反省的に考察していく。以上の取り組みを経て、社会で活躍するビジネスパーソンになることを目指していく。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>経済学部HPの「受講の手引き(学部)」にあるカリキュラム・マップ」を見てください。  専門ゼミは次のDPを授業到達目標としています。  DP-5：獲得した知識を駆使して新たな価値を創造するとともに、これを発信する能力を身につけている。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	平素の取り組み(60%)、研究発表(40%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	(予習) 企業が抱える課題の探索のための事前調査、課題解決のための問いと仮説構築およびアイデアの創出 (2h) (復習) 実行後のリフレクション (2h)		

キーワード/Keywords	PBL教育、産学連携、経営組織、マネジメント、マーケティング
教科書・教材・参考書/Materials	課題解決に関連する書籍などを適宜紹介する。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	受け入れコース：全てのコース・領域 あらかじめ履修しておかなければならない科目や受講前の準備：「プロジェクト・リテラシー」「ビジネス・リサーチ」科目 早期卒業受け入れ：否 その他必要な要件：「プロジェクト演習」科目の同時履修を要件とする。また、学研災付帯賠償責任保険（Aコース）の加入を義務付ける。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	
備考（URL）/Remarks (URL)	授業は対面形式で実施する。初回に授業計画を説明する。なお、状況によって開講場所や日時を変更する場合もある。変更の場合は連絡するので確認すること。
学生へのメッセージ/Message for students	本ゼミは、ビジネス実践力を育成するための実践型ゼミです。 ゼミに関する疑問や懸念点などの個別相談を希望する学生は、メールでの問い合わせを受けつけます。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1～8回（4・5月）	本演習はクライアントやフィールドの状況によって、予定が変更する可能性がある。ゆえに、講義スケジュールは大まかな目安であることを留意されたい。 本演習は、少人数のチームで活動する。ゆえに、グループワークが不可欠である。また、下記活動の詳細なプランニングもチームで練り上げていく。 【現状分析と課題抽出】 序盤は、アイデアを生み出すための文献調査や実態調査としてのフィールドワークを行う。フィールドワークを通して、対象地域や事業者（企業）が抱える課題を抽出していく。
第9～15回（6・7月）	【問いと仮説とアイデアの創出】 課題に基づいて、問うべき問いや、仮説の構築を試みる。その後、アイデアの創出し、アイデアを事業者および教員などの関係者にプレゼンテーションする。 プレゼンテーションのフィードバックをもとに、アイデアを改善し、最終的に実現可能なアイデアの実行に向けて準備を行う。
第16～23回（10・11月）	【リフレクション】 アイデアの実行後は、チームや個人でリフレクション（内省）を実施し、アイデアにどのような意味や価値があったのかについて議論していく。この議論を活動報告書の土台にしていく。
第24～30回（12・1月）	【活動報告書の作成】 ゼミ活動を経て、「現状分析、課題抽出、問い・仮説およびアイデア創出、リフレクション」をまとめた活動報告書の作成を行う。

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Oth. 0
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2026/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	4.0/4.0/4.0
時間割コード / Time schedule code	20251510000724	科目番号 / Course code	15100007
科目ナンバリングコード / Numbering code	ECET 38360_398_2		
授業科目名 / Course title	専門ゼミ / Special Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	丸山 真純 / Maruyama Masazumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	丸山 真純 / Maruyama Masazumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	丸山 真純 / Maruyama Masazumi		
科目分類 / Course Category	演習, 自由専門科目		
対象年次 / Intended year	3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room			
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	3年次以上で経済学部で定める必要単位数を修得した学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	masazumi@[nagasaki-u.ac.jp]		
担当教員研究室/Office	本館6階		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	開講時に報告する。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>題目： 異文化コミュニケーション論  テーマ： 社会と連携したグローバル・プロジェクト演習  内容と方法：  3年次は、最初に、内容に関するオリエンテーションを行う。受動的学びと能動的学びの違い、プロジェクト型の学びなどについて、演習形式で学ぶ。その後、大学や外部と連携して、課題を解決するプロジェクトをチームで行う。一連のプロセスを通じて、協働すること、困難に対処すること、調査と評価方法、課題解決能力などを養う。  また、諸外国出身のゲストスピーカーを迎えて、異文化に関わる知識や異文化に身を置くことについての文化社会心理学的理解を深めるとともに、実際のコミュニケーション経験を通じて、価値観、世界観、行動様式の多様性にふれる。留学生や地域の方と活動する場面を設けたいと思っています。</p> <p>具体的な内容、トピック、方法についての詳細は、ゼミ生と話し合いながら決定します。</p> <p>4年次は、卒論に向けて、各自の関心に応じたテーマについての研究報告を中心に行う。</p> <p>「実践的エコノミスト」の養成に照らして設定する課題・テーマや指導方針に基づき、学生が主体的な学習を行う演習科目であり、1年間を通して一人の教員の指導のもとに履修する必修科目である。</p> <p>各ゼミは6名から12名の少人数で構成されるため、履修希望者が多い場合は教員と履修希望者との面接等を実施し選抜を行う。</p> <p>専門ゼミの単位修得後、原則として同一教員の指導のもとに卒研ゼミを履修する。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>経済学部HPの「受講の手引き(学部)」にあるカリキュラム・マップ」を見てください。  専門ゼミは次のDPを授業到達目標としています。  DP-5：獲得した知識を駆使して新たな価値を創造するとともに、これを発信する能力を身につけている。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence    倫理観 / Ethics    多様性の理解 / Understanding Diversity    主体性 / Autonomy    協働性 / Cooperativeness    考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas    国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		

学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動  / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動  / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動  / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動  / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法  / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される  / It consists only of lectures from teachers
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	ゼミの課題・テーマに対する取り組み方, 主体的・積極的なゼミへの参加, 報告やプレゼンテーションなどを基本として, 指導教員が成績評価を行う。 詳細は、初回に説明する。
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	【準備学習】 毎回、該当する教科書や参考書の箇所(授業時に次回の準備学習について指示します)を2時間/週で読む・書くことをしてください。準備学習により理解していない点を明確にし、積極的に授業で質問するようにしてください。(2h) 【復習】 演習内容について、テキストを読んで復習し、理解できない点は図書やインターネットを用いて調べること。また、演習で紹介する文献等から興味のあるものを読むこと。(2h)
キーワード/Keywords	異文化コミュニケーション
教科書・教材・参考書/Materials	必要に応じて、資料を用意する
受講要件(履修条件)/Prerequisites	専門ゼミを履修するためには、次に掲げる単位数を修得していなければならない。 令和3年度以降入学者 (1)教養教育科目の修得単位数が22単位以上(外国語科目6単位以上を含む) (2)専門教育科目の修得単位数が26単位以上  平成24年度入学者~令和2年度入学者 (1)教養教育科目の修得単位数が28単位以上(外国語科目8単位以上を含む) (2)専門教育科目の修得単位数が20単位以上  早期卒業受け入れ: 否
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2999 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp
備考(URL)/Remarks (URL)	対面で実施する 異文化コミュニケーション論を履修済みであることが望ましい 留学生のチューターなど、留学生との交流を望む学生を歓迎します
学生へのメッセージ/Message for students	ゼミの内容等について質問がある場合、研究室を訪問して下さい。 e-mailも可: masazumi[@]nagasaki-u.ac.jp また、先輩ゼミ生に話しを聞いてみてください。 ゼミはあくまでも主体的に学ぶ場です。学ぶ意欲旺盛な学生を歓迎します。
実務経験のある教員による授業科目であるか(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1~30回	研究報告とディスカッション

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Oth. 0
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2026/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	4.0/4.0/4.0
時間割コード / Time schedule code	20251510000725	科目番号 / Course code	15100007
科目ナンバリングコード / Numbering code	ECET 38360_398_2		
授業科目名 / Course title	専門ゼミ / Special Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	南森 茂太 / Minamimori Shigeta		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	南森 茂太 / Minamimori Shigeta		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	南森 茂太 / Minamimori Shigeta		
科目分類 / Course Category	演習, 自由専門科目		
対象年次 / Intended year	3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room			
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	3年次以上で経済学部で定める必要単位数を修得した学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	shigeta373mori@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	経済学部本館6階 625研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日 12:10 ~ 13:10		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>演習題目：日本経済史 課題テーマ：長崎居留地の歴史、そして未来 内容と方法</p> <p>【内容】 日本は1858年に欧米5か国と修好通商条約を締結しますが、その中には開港地に居留地を設けることが掲げられます。長崎では1860年より大浦一帯が埋め立てられ居留地が造成されています。専門ゼミではこの長崎居留地をテーマとした研究に取り組んでいきます。具体的なテーマとしては、居留地は日本の近代化をどのように支えたか、居留地は日本人の暮らしにどのような影響を及ぼしたのかという歴史的な研究も考えられます。また、居留地に残された歴史的遺産を今後どのように保存、活用していくべきかといった未来志向の研究も考えられます。皆さんがご自身で選んだテーマについて2年間じっくりと研究してください。</p> <p>なお、令和6年度は領域演習の学生とともにグラバー園のツアーガイドを実施しましたが、令和7年度に関しても希望があれば実施します（なお、その際の実施時期は11月、12月ごろを予定）。</p> <p>【方法】 3 年前期：ゼミでの学習についてのガイダンス・ワークの後、グループでテーマを選定、調査・検討し、プレゼンテーションをおこなう。 3 年後期：前期の研究を深化し、学内外で研究発表をおこなう。 4 年前期：卒論テーマを決め、就職活動と調整しながら、指導を受ける。 4 年後期：卒論の執筆、提出。</p>		
授業到達目標/Course goals	DP-5：獲得した知識を駆使して新たな価値を創造するとともに、これを発信する能力を身につけている。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br&gt; / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br&gt; / Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br&gt; / Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br&gt; / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br&gt; / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br&gt; / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	研究成果の報告内容 (100%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：ゼミ報告に向けての準備(2h) 事後学習：報告に対するコメントを反映した報告内容の加筆・修正(2h)
キーワード/Keywords	長崎、経済人、「近代化」、居留地
教科書・教材・参考書/Materials	教科書：なし 参考書：ゼミ生の研究テーマに応じて適宜紹介します。
受講要件(履修条件)/Prerequisites	早期卒業受け入れ：否
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2999 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp
備考(URL)/Remarks (URL)	対面で開催
学生へのメッセージ/Message for students	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゼミ内容などに質問がある場合はゼミ見学、個別相談を利用してください。</li> <li>・面接にあたり、志望理由書をA4用紙に800字程度でまとめて持参してください。</li> <li>・学外でのゼミ活動(研究調査、合宿、他大学との合同ゼミ)に意欲のある学生を募集します。</li> <li>・ゼミ生の主体的な活動により、ゼミの伝統を築きあげていきましょう。</li> </ul>
実務経験のある教員による授業科目であるか(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	Nの場合...記入不要 Yの場合...(例) 社において、 の開発に従事/ について教授
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1~30回	研究調査、研究報告とディスカッション

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Oth. 0
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2026/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	4.0/4.0/4.0
時間割コード / Time schedule code	20251510000726	科目番号 / Course code	15100007
科目ナンバリングコード / Numbering code	ECET 38360_398_2		
授業科目名 / Course title	専門ゼミ / Special Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	三輪 加奈 / MIWA kana		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	三輪 加奈 / MIWA kana		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	三輪 加奈 / MIWA kana		
科目分類 / Course Category	演習, 自由専門科目		
対象年次 / Intended year	3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room			
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	3年次以上で経済学部で定める必要単位数を修得した学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	k-miwa@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	経済学部本館6階 623研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールにて連絡をしてください。(k-miwa@nagasaki-u.ac.jp)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>演習題目： 開発経済研究          課題テーマ： 開発途上国の抱える問題・課題を考える          内容与方法： 本演習では、開発途上諸国における貧困、社会・経済開発の問題等を扱います。具体的に、前期は開発途上国の貧困問題について、その現状を学び、また貧困削減に向けた社会・経済開発について基礎的な知識を養うことを目的に、関連する文献などを読み、担当者からの報告を求めます。後期は、前期のゼミなどで得られた知識などをベースに、ゼミ生同士のグループワークやプレゼンテーションを中心に議論・討論を行います。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>専門ゼミは、次のDPを授業到達目標としています。          DP-5：獲得した知識を駆使して新たな価値を創造するとともに、これを発信する能力を身につけている。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br&gt; Activities to check the degree of comprehension of the contents for the lesson or to think over          B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br&gt; Activities involving others to think from various perspectives          C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br&gt; Activities to practice for acquiring skills          D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br&gt; Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems          E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br&gt; Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above          F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br&gt; It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	積極的・主体的なゼミへの参加態度(輪読、プレゼン、グループワークへの取り組み方など)をもとに総合的にルーブリックを用いて評価する(計100点)。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	(予習)テキストの次回の学習範囲の予習や、指定した文献探索などをしてもらいます。(2h) (復習)ゼミでの内容を整理し理解を深めます。追加調査やグループでの追加作業を求めることもあります。(2h)		
キーワード/Keywords	開発経済学、開発途上国、貧困削減、国際協力、SDGs		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は受講者と相談して決めます。 参考書も適宜紹介します。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	受け入れコース： 全てのコース あらかじめ履修しておかなければならない科目や受講前の準備： 特になし(ただし演習開始前に課題を課す場合があります) 早期卒業受け入れ： 可		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2999 （E-MAIL）support_ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	授業形態は、対面授業とします。（留学中の学生はオンラインでの参加可）
学生へのメッセージ/Message for students	グループワークなど、ゼミに関する活動に主体的・積極的に参加できる学生を希望します。
実務経験のある教員による授業科目であるか （Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回（日時） / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1～15回	テキストの輪読
16～30回	グループワーク（開発途上国や国際協力などに関するディベートやプレゼンなど）

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Oth. 0
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2026/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	4.0/4.0/4.0
時間割コード / Time schedule code	20251510000727	科目番号 / Course code	15100007
科目ナンバリングコード / Numbering code	ECET 38360_398_2		
授業科目名 / Course title	専門ゼミ / Special Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	森田 顕仁 / MORITA AKIHITO		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	森田 顕仁 / MORITA AKIHITO		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	森田 顕仁 / MORITA AKIHITO		
科目分類 / Course Category	演習, 自由専門科目		
対象年次 / Intended year	3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room			
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	3年次以上で経済学部で定める必要単位数を修得した学生 (租税法の知識の有無は問わない)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	akihito.m@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	本館 (学務係が1階にある棟) 6階602号室		
担当教員TEL/Tel	095-820-6331		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールでのやりとり以外については、事前に日程調整メールをください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>演習題目：租税法          課題テーマ：租税に関連する分野についての研究          内容与方法：租税に関連する分野は、租税法のみならず、会計・税務のIT化、税務行政の運営など、広範に渡るものである。本演習においては、租税についてのグループ討論や質問などを通じて基礎的な事項を学習した上で、各々が興味を持っている租税に関連する分野について、レポートを作成する。なお、本演習におけるトータルの時間としては、前者及び後者でおよそ半分ずつとする予定。          なお、授業は原則として対面で実施。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>(1) 租税に関連する分野に自ら興味を持ち、自分の意見を構築・発言し、不明な点を質問することで、知識の習得、発信力の向上を図る。          (2) 討論の資料の準備や論文の作成を通じてグループで協力することにより、協調性を身につける。          なお、授業到達目標について、DPとの関連では以下のとおり。          DP5：獲得した知識を駆使して新たな価値を創造するとともに、これを発信する能力を身につけている。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br&gt; / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over          B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br&gt; / Activities involving others to think from various perspectives          C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br&gt; / Activities to practice for acquiring skills          D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br&gt; / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems          E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br&gt; / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above          F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br&gt; / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	<p>・演習における課題の報告内容 (30%)          ・演習で作成したプレゼン資料やレポートの内容 (30%)          ・演習における積極的なコメント・質問 (30%)          仮に間違えたコメント等であっても評価を下げることはしない。          他の学生に対するアドバイスも積極的に評価。          ・その他 (演習の運営に対する積極的な貢献など) (10%)</p>		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学修の内容/Preparation & Review	【事前及び事後】 グループ討論の資料やレポートの作成に当たり、事前の準備や事後の対応が必要となる場合が多い。具体的には、各演習における検討課題への対応、レポートの作成・提出やグループ討論資料であるパワポ資料の作成など。(週2h)
キーワード/Keywords	租税法、国際課税、税務行政
教科書・教材・参考書/Materials	【教科書】租税法入門 第3版(有斐閣、増井良啓著)
受講要件(履修条件)/Prerequisites	受け入れコース: 全てのコース あらかじめ履修しておかなければならない科目や受講前の準備: 特になし(租税法の知識の有無は問わない) 早期卒業受け入れ: 可
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考(URL)/Remarks (URL)	原則として、授業は対面で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	租税は日常生活の中、色々なところで接するものであり、多くの人々にとって重要なものです。その一方で、租税法は法令の中でも難解であり、理解しにくいものと言われています。この演習では、租税の基本的な仕組みや租税法の基本的な解釈について学び、租税や租税法の理解を深めます。その上で、国際課税や税務行政のIT化など、現在進行中の課題についても取り扱います。学生のみなさんが、租税に関する様々な事柄について、自分自身で検討し、自分なりの考えを持てるように、一緒に取り組んでいきたいと思ひます。
実務経験のある教員による授業科目であるか(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	森田顕仁 / 税務行政 / 税務、租税手続き、租税法の企画・立案(税制改正)、国際課税などに携わった経験を活かし、演習を進めます。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
初回～最終回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・租税関連分野におけるグループ討論やそのための準備を行います</li> <li>・学生の興味のある分野(租税関連)のレポート作成</li> <li>・原則として、授業は対面で実施します</li> </ul>

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Oth. 0
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2026/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	4.0/4.0/4.0
時間割コード / Time schedule code	20251510000728	科目番号 / Course code	15100007
科目ナンバリングコード / Numbering code	ECET 38360_398_2		
授業科目名 / Course title	専門ゼミ / Special Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	森保 洋 / Moriyasu Hiroshi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	森保 洋 / Moriyasu Hiroshi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	森保 洋 / Moriyasu Hiroshi		
科目分類 / Course Category	演習, 自由専門科目		
対象年次 / Intended year	3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room			
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	3年次以上で経済学部で定める必要単位数を修得した学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	moriyasu@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	経済学部東南アジア研究所3階313番研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	開講時に連絡する。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>演習題目：計量経済学とデータサイエンス          課題テーマ：因果推論と計量経済学を利用したデータ分析          内容と方法：          「あるメールマーケティングを行った結果、商品の売り上げが増加したか?」「ある学校が移転したことで、周辺の地価が下落したか?」「会社の社長が交代したことで、その企業の利益が増加したか?」など、あるイベントが何かに影響を与えたかどうか、検証したいケースに我々はよく遭遇します。このようなとき、単純にイベント前後のデータの大小を比較すれば良さそうな気もしますが、問題はそんなに簡単ではありません。          本演習では、イベントの効果を正しく検証するために必要な、因果推論と計量経済学の手法を学びます。また、実際に統計分析プログラムRとデータを利用し、コンピュータ実習を行います。プログラムの作成にはChatGPT等の生成AIも利用する予定です。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>経済学部HPの「受講の手引き(学部)」にあるカリキュラム・マップ」を見てください。          専門ゼミは次のDPを授業到達目標としています。          DP-5：獲得した知識を駆使して新たな価値を創造するとともに、これを発信する能力を身につけている。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br&gt; / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over          B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br&gt; / Activities involving others to think from various perspectives          C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br&gt; / Activities to practice for acquiring skills          D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br&gt; / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems          E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br&gt; / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above          F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br&gt; / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	<p>課題への取り組み方(40%)、積極的なゼミへの参加態度(30%)、報告や作成したレジュメ(30%)をもとに判断し評価を行います。</p>		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	<p>詳細は授業計画詳細を参照</p>		

事前、事後学修の内容/Preparation & Review	(予習)テキストの次回の学習範囲の予習や、指定した動画の視聴、文献探索をしてもらいます。(2h) (復習)ゼミでの内容を整理し理解を深めます。追加調査やグループでの追加作業を求めることもあります。(2h)
キーワード/Keywords	計量経済学、因果推論、データ分析、プログラミング、R、オープンデータ
教科書・教材・参考書/Materials	安井翔太(2020)『検証効果入門』、技術評論社
受講要件(履修条件)/Prerequisites	受け入れコース・領域：：全てのコース・領域 あらかじめ履修しておくことが望ましい科目や受講前の準備：計量経済学を受講していることが望ましい 早期卒業受け入れ：否 その他必要な要件：
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2999 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp
備考(URL)/Remarks (URL)	授業は対面形式で行います。
学生へのメッセージ/Message for students	演習はゼミ生による輪講形式をとりますので、ゼミ生の積極的な参加が要求されます。また、データ取得・分析の過程でコンピュータ・プログラムを作成します。コンピュータの利用・データ分析に興味がある学生さんの参加を歓迎します。
実務経験のある教員による授業科目であるか(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
毎回	テキストの内容報告とディスカッション、パソコンを利用した計量分析

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Oth. 0
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2026/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	4.0/4.0/4.0
時間割コード / Time schedule code	20251510000729	科目番号 / Course code	15100007
科目ナンバリングコード / Numbering code	ECET 38360_398_2		
授業科目名 / Course title	専門ゼミ / Special Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	山口 純哉 / Yamaguchi Junya		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	山口 純哉 / Yamaguchi Junya		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	山口 純哉 / Yamaguchi Junya		
科目分類 / Course Category	演習, 自由専門科目		
対象年次 / Intended year	3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room			
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	3年次以上で経済学部で定める必要単位数を修得した学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	junya-y@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	東南アジア研究所2階215号室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	開講時に連絡する。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>演習題目：地域経済学          課題テーマ：地域社会の持続可能性について          内容と方法：地域経済の持続を促すために、地域社会の理想像、それを踏まえた地域社会の問題、その問題解決に資する課題の設定と個人や組織がとるべき具体的な方策について検討します。これらの検討を進めるにあたっては、2年間を通じて輪読やフィールドワークに務め、その成果を論文やwebで発信したり実践的な活動によって世に問うことを繰り返します。その結果、長い時間、遠い空間や多様な人々を想い、考え、行動できる人材となることを目指します。</p>		
授業到達目標/Course goals	DP-5：獲得した知識を駆使して新たな価値を創造するとともに、これを発信する能力を身につけている。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br&gt; Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over          B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br&gt; Activities involving others to think from various perspectives          C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br&gt; Activities to practice for acquiring skills          D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br&gt; Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems          E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br&gt; Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above          F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br&gt; It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	ゼミにおける輪読、フィールドワーク等への主体的に取り組んでいるかどうか(100%)。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	(予習) 輪読における当該文献の解説や関係する文献の渉猟などゼミ活動にかかる事前の学修(2h) (復習) 輪読報告時に得た質問や意見などに対する回答の作成など事後の学修(2h)		
キーワード/Keywords	地域経済、地域社会、持続可能性		
教科書・教材・参考書/Materials			
受講要件(履修条件) / Prerequisites	受け入れコース・領域：全コース・全領域 あらかじめ履修しておくことが望ましい科目や受講前の準備：経済学の基礎的科目。また、地域経済論や地域政策論を、事前もしくは専門ゼミと同時に履修してください。 早期卒業受け入れ：否 その他必要な要件：特になし		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2999 （E-MAIL）support_ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	授業は対面形式で実施しますが、必要に応じてオンラインも併用します。最初の回に授業計画を説明しますが、状況によって変更する場合があります。
学生へのメッセージ/Message for students	地域社会の現状や課題に強い関心があり、地域に関わるあらゆる問題を食わず嫌いせず受け入れて、他者や地域を最優先に、その解明や解決に全力であたれる学生の履修を希望します。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
全回	研究報告とディスカッション、フィールドワークもしくは実践活動

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Oth. 0
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2026/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	4.0/4.0/4.0
時間割コード / Time schedule code	20251510000730	科目番号 / Course code	15100007
科目ナンバリングコード / Numbering code	ECET 38360_398_2		
授業科目名 / Course title	専門ゼミ / Special Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	吉沢 裕典 / yoshizawa yasunori		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	吉沢 裕典 / yoshizawa yasunori		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	吉沢 裕典 / yoshizawa yasunori		
科目分類 / Course Category	演習, 自由専門科目		
対象年次 / Intended year	3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	3年次以上で経済学部で定める必要単位数を修得した学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yoshizawa nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部本館5階 510号室.		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	開講時に連絡する.		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>演習題目: ミクロ経済学.          課題テーマ: 理論ミクロ経済学とその応用.          内容と方法:          ・3年次は基礎的な理論ミクロ経済学またはゲーム理論のテキストを輪読, あるいは実際の研究論文を精読し, 内容について資料を作成し, プレゼンテーションを行ってもらふ. 3年次終了時迄に, 各自の興味に基づき卒業論文のテーマを決めてもらう.          ・4年次は3年次に決めた卒業論文のテーマで論文執筆を行ってもらふ. 卒業論文執筆の進捗状況について報告を求める場合がある.</p> <p>位置づけ: 大学での学修の集大成として, 4年次には卒業論文を執筆してもらおうが, ゼミ活動および卒業論文執筆の過程でゼミ生は様々な「勉強」を行うこととなる. この「勉強」は試験で良い点数を取るための勉強とは違い, 論文執筆に必要な事柄を自主的に行う行為であることに留意すること.</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>経済学部 HP の「受講の手引き(学部)」にある「カリキュラム・マップ」を見よ.          専門ゼミは次のDPを授業到達目標としている.          DP5: 獲得した知識を駆使して新たな価値を創造するとともに, これを発信する能力を身につけている.</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br&gt; / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over          B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br&gt; / Activities involving others to think from various perspectives          C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br&gt; / Activities to practice for acquiring skills          D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br&gt; / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems          E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br&gt; / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above          F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br&gt; / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	<p>・【専門ゼミ】3年次終了までに, 次の科目の履修を義務付ける.          ミクロ経済学A・B, 経済数学I・II, 統計学I・II, 計量経済学I・II. これに加えて, 産業組織論または応用ゲーム理論.          3年次終了までにこれらの科目を履修しない場合は成績を「失格」とする. この上で, 主体的・積極的なゼミ活動への参加態度, 報告やプレゼンテーションをもとに総合的に判断する.</p> <p>・【卒研ゼミ】卒業論文作成プロセスと提出された卒業論文をもとに総合的に判断する.</p>		

各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	本来、研究を行うための学習には終わりが無い。従って、予習復習の時間はあくまでも目安であって、その時間だけ学習すれば研究が行えるようになるわけでは無いことに留意すること。 【予習】報告者はテキストまたは研究論文の該当箇所を精読し、発表資料を作成すること。聴取者も該当箇所について内容を把握しておくこと(2h以上)。 【復習】より理解を深めるために、問題演習に取り組むこと(2h以上)。
キーワード/Keywords	理論ミクロ経済学、ゲーム理論。
教科書・教材・参考書/Materials	【テキストの輪読をする場合の候補】 ・Robert Gibbons (1992) "Game Theory for Applied Economists," Princeton University Press (福岡 正夫・須田 伸一訳, 2020 『経済学のためのゲーム理論入門』岩波書店)。 ・Martin J. Osborne and Ariel Rubinstein (1994) "A Course in Game Theory," MIT Press. ・岡田 章 (2021) 『ゲーム理論 第3版』有斐閣。 ・渡辺 隆裕 (2021) 『一歩ずつ学ぶ ゲーム理論 - 数理で導く戦略的意思決定 -』裳華房。  【参考書】 ・岡田 章 他 (2015) 『ゲーム理論ワークブック』有斐閣。 ・岡田 章 (2014) 『ゲーム理論・入門 人間社会の理解のために 新版』有斐閣。 ・梶井 厚志・松井 彰彦 (2000) 『ミクロ経済学 戦略的アプローチ』日本評論社。 ・渡辺 隆裕 (2008) 『ゼミナール ゲーム理論入門』日本経済新聞出版社。 ・Andreu Mas-Colell, Michael D. Winston and Jerry R. Green (1995) "Microeconomic Theory," Oxford University Press. ・神取 道宏 (2014) 『ミクロ経済学の力』日本評論社。 ・林 貴志 (2013) 『ミクロ経済学 増補版』ミネルヴァ書房。 ・尾山 大輔, 安田 洋 編著 (2013) 『改訂版 経済学で出る数学』日本評論社。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	受け入れコース、領域：コース、領域は問わない。 あらかじめ履修しておかなければならない科目や受講前の準備：以下の科目を3年次終了までに履修すること。これらの科目の履修が認められない場合、卒業研究に取り掛かれずと判断し成績評価を『失格』とする(つまり留年する)。 ミクロ経済学A・B、経済数学I・II、統計学I・II、計量経済学I・II。これに加えて、産業組織論または応用ゲーム理論。 早期卒業受け入れ：可
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2999 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks (URL)	・授業は対面方式で実施するが、状況によって変更する場合もある。その場合はLACSで通知する。 ・中級レベルのミクロ経済学のテキスト(例えば、神取 道宏, 2014 『ミクロ経済学の力』日本評論社、あるいは、林 貴志, 2013 『ミクロ経済学 増補版』ミネルヴァ書房)やゲーム理論のテキスト(例えば、岡田 章, 2021 『ゲーム理論 第3版』有斐閣)を1冊自力で完読しておくこと。 ・経済学で使う数学について良く分からない者は経済数学のテキスト(例えば、尾山 大輔, 安田 洋 編著, 2013 『改訂版 経済学で出る数学』日本評論社)を1冊自力で完読しておくこと。
学生へのメッセージ/Message for students	・応募に際しては、個別相談の時間などを利用し、内容などに関して事前に必ず説明を受けてから応募すること。事前説明を受けない者は受入不可。事前にメールをもらえれば、個別相談の時間以外も可能な限り対応する。 ・大学での学修の集大成として、4年次には卒業論文を執筆してもらおうが、ゼミ活動および卒業論文執筆の過程でゼミ生は様々な「勉強」を行うこととなる。この「勉強」は試験で良い点数を取るための勉強とは違い、論文執筆に必要な事柄を自主的に行う行為であることに留意すること。 ・ミクロ経済学の基礎理論は学習に相当のコミットメントをしても、論文が書き難い分野であることも考慮すること。一方、ミクロ経済学の理論を応用し、現実の社会問題を上手く説明することは比較的取り組み易い。従って、社会に対して関心を持っておくこと。 ・吉沢は理論ミクロ経済学を専門としているが、実証分析を行いたい学生を受け入れる場合がある。受け入れる条件は、1. 計量経済学や統計学といった実証分析に必要な基礎分野の自主学習ができ、2. 実証分析を行いたい経済学あるいは社会の問題が明確であり、3. 実証分析を行うためのデータの入手可能性が明白であるという3つの条件をすべて満たしている場合である。なお、吉沢はデータの入手方法一般について詳しいわけではないので、応募者がデータの入手可能性についても説明する必要があることに注意すること。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N

実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1-30回	輪読, 研究報告, ディスカッション, 研究指導

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Oth. 0
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2026/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	4.0/4.0/4.0
時間割コード / Time schedule code	20251510000731	科目番号 / Course code	15100007
科目ナンバリングコード / Numbering code	ECET 38360_398_2		
授業科目名 / Course title	専門ゼミ / Special Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	林 麗桂 / LIN Ligu		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	林 麗桂 / LIN Ligu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	林 麗桂 / LIN Ligu		
科目分類 / Course Category	演習, 自由専門科目		
対象年次 / Intended year	3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room			
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	3年次以上で経済学部で定める必要単位数を修得した学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	lainty1210@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	経済学部本館531		
担当教員TEL/Tel	080-4125-3018		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールにて事前連絡 (月~金 10:00~18:00) lainty1210@nagasaki-u.ac.jp		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	演習題目: 組織行動研究 テーマ: 開講後に履修生により決める 内容と方法: 自主的に理論知識をインプットしながら、文献やヒヤリング調査さらにグループディスカッションを行い、取り組みたいテーマを決める。各段階で得られた結論や進捗については定期的にレポート・プレゼンテーション・論文などのハンドアウトを通じてゼミ内外で発表し、質疑応答に対応したり議論を行ったりする。教員は適宜に方向性の提示やアドバイスをを行う。		
授業到達目標/Course goals	DP-5: 獲得した知識を駆使して新たな価値を創造するとともに、これを発信する能力を身につけている。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	平素の取り組み: 60% グループワークへの貢献度: 40%		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	(予習) 指定された資料や課題を事前に予習し、文献を検索した上で、自らの見解をまとめておくこと (2h)。 (復習) ゼミでの内容を整理し理解を深める。追加調査やグループでの追加作業を求めることもある。(2h)		
キーワード/Keywords	主体性、組織行動、グループワーク、調査		
教科書・教材・参考書/Materials	授業内に適宜指示する		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites	受け入れコース: コースを問わないが、あらかじめ履修しておかなければならない科目や受講前の準備: 組織の中で活動する人の行動 (心理) に興味を持つこと、または関連科目を履修したことが望ましい 早期卒業受け入れ: 可 受講要件として、プロジェクト演習 (通年1コマ2単位) も受講する必要がある		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2999 （E-MAIL）support_ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	対面
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション（対面）
第2～14回	グループワークを通じて研究テーマ、または取り組む課題を見つける（対面） 段階的に進捗・報告会を行うことがある
第15回	中間報告（対面）
第16～29回	前期で残された課題に対して、引き続き調査やグループワークを通してクリアしていく（対面）
第30回	最終報告（対面） 前期と後期に行った活動のまとめ・振り返り・成果物の発表